

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（高浜発電所1号機及び2号機 設計及び工事計画認可申請（使用済燃料ピット用中性子吸収体の廃止等）【4】）」
2. 日時：令和5年4月4日（火）13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

奥企画調査官、中川上席安全審査官、鈴木主任安全審査官

関西電力株式会社：

原子力事業本部原子力発電部門燃料保全グループ チーフマネジャー

他4名（うち1名※）

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

## 6. その他

提出資料：

- ・資料2-1 高浜発電所第1, 2号機審査資料 SFP水位低下時における不確定性に関する補足説明
- ・資料3 高浜発電所第1, 2号機審査資料 コメント整理表

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁スズキです。本日は、関西電力高浜 12 号機使用済み燃料貯蔵施設の、
0:00:12	中性子吸収体等の廃止に係る設工認の、
0:00:17	ヒアリングを行います。
0:00:21	前回、
0:00:25	の審査会合ですね、2 月 16 日の審査会合において、規制庁側から、
0:00:32	2 点を大きく 2 点指摘を出しています。使用済み燃料が露出して、水位低下した場合の、
0:00:41	不確定性評価、これ解析。
0:00:46	計算コードと、それから、
0:00:48	製造公差等に係る不確定性評価ですね、これについて、
0:00:54	冠水時の確定性を考慮した臨界防止判定の代表性を説明することということ。
0:01:03	2 点目としまして、計算コードをスケールの不確定性ん。
0:01:10	に採用した。
0:01:12	国際ベンチマーク臨界実験ケースの体系条件等について実機体系、実機の条件等と比較して、その適用性を説明することということです。
0:01:25	本日は関西電力より、事前に資料 2-2、
0:01:32	とそれから資料 3 が出てきていますので、そちらで確認をしていくものと思っておりますけれども、
0:01:42	他に資料ありますでしょうか。
0:01:48	よろしいですね。まずは
0:01:51	資料 3 で、
0:01:56	私が前回の審査会合で、指摘したと言った趣旨が、いくつかにばらけておりますので、
0:02:05	左側のナンバーでいうと、6、7、8、9、かと思しますので、
0:02:13	その順番で説明をしていただいて一つずつ質疑を通したいと思しますので、
0:02:21	関西電力から説明をお願いします。
0:02:31	はい。関西電力の平野でございます。それでは資料 3 のナンバー 6 から 9 に対して江藤順番にご説明させていただきたいと。
0:02:41	まずナンバー 6 の実効増倍率の訂正について水位が低下した場合の有無を、資料を用いて説明すること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:49	そういったコメントをいただいておりますけども、こちらに関しましてはナンバーの7とも
0:02:54	二つ。
0:02:56	関係性がございますのであわせてご説明させていただきたいと思えます。
0:03:00	こちらに関しましては資料2-2のうちの、下のページで言いますと2ページ目、
0:03:07	その3ポツ製作公差による不確定性というふうにまとめてございます。
0:03:12	こちらに関してですけども水位低下したサイエツト塩素の影響出てきますけども、あとはSyとなんだ。
0:03:19	ナンバー9のところ、
0:03:22	徳田氏されておりますのでそちらの方はまずは、その説明の方を割愛させていただきたいと思う。
0:03:29	こちらの3ポツの政策講座による不確定性という部分でございますけども、こちらがいわゆる
0:03:36	計算体系に対しまして入力項目別に算出されているものでございます。
0:03:42	こちらに関しましては水、
0:03:44	実際に本評価体系におきまして、製造公差分の
0:03:49	入力値を変動させることによりまして入力値、
0:03:53	いわゆるあれですね、ノミナル値に対する差というものを算出いたしましてそちらに対して、
0:04:00	その差分というものを不確定性という、いうもの。
0:04:04	して表しているものでございます。
0:04:06	こちら第3図にございます。
0:04:11	同第3図、こちらがですね、
0:04:14	とかく水位における、
0:04:19	各水位状態におけます、
0:04:25	つきます実効増倍率を計算したものでございます。
0:04:29	こちらご確認いただきます通り、関数所、
0:04:33	冠水状態から水位が低下さ。
0:04:36	冠水状態に対して水位を低下させていきまして約水の1000ミリメートル程度まではほぼ横ばいとなっております、
0:04:43	なっております。
0:04:45	なのでこちらに関しましては、水位の低下した際におきましても気相部と影響というものはほぼほぼ受けないものとなっております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:52	あと実効増倍率に際しましては、気相部によるものが支配的な状況。
0:04:59	えっと我々考えております。
0:05:01	すいません 2 ページ目に戻ります。
0:05:04	第 3 図に示す通り気相部に存在しない海水状態から水位 1000mm 定数程度までは実効増倍率が横ばいとなっておりますことから、当時構造材ウエノ期
0:05:14	の寄与というものはXオカ支配的アウトと先ほど申しました通り我々考えており、
0:05:20	その場合なんですけども先ほどの申しました不確定性の算出の方法です、こちらに関しましても、ノミナル値を入力した場合と製造公差の、
0:05:31	ノミナル値の値を入力した場合との見直し、プラス、±製造公差を入力した場合の実効増倍率というものに関しましても液相部、
0:05:42	が支配的になってと評価に、
0:05:44	そう。
0:05:45	影響を与えているものと考えておまして、こちらの水位が低下 1000 ミリメートル程度までは、気相部が支配的になっておりますので、同様に不確定性への影響に関しましてもエキス大津が支配的であると考えております。
0:06:00	またこちらに関しましては、不確定性の変動に対し、
0:06:04	不確定性が変動。
0:06:06	することはございますけども、それ以上に実効増倍率自体の低下幅の方が大きいとか、大きいための不確定性を考慮した場合におきましても冠水状態が最も高い実効増倍率だと。
0:06:19	またこちらです、ね気相部の拡大によりまして実効増倍率が大きく低下し始めた。水位 1000 ミリメートル時点での本ケースにおいての、
0:06:28	1 次勾配増倍率なんですけども第 6 表に示しております通り、0.9316 となっております。
0:06:36	こちらの第 6 表はですね、この 1000mmメート時点での、
0:06:40	不確定性に対して新たに算出したものでございますけども、
0:06:45	こちらの衛藤実効増倍率。
0:06:47	A. 9316 に対しましてその時点での不確定性、0.0104 を控除した場合が多い。
0:06:55	に対しましてもえっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:57	この実効増倍率というものは 0.94%となっておりまして、冠水、冠水時における実効増倍率に深くて不正を足したものよりも低い値となっておりまして、また、
0:07:07	判定基準であります 0.98 を満足しているものでございます。
0:07:12	この通りの気相部の実効増倍率の不確定性に対する、
0:07:16	平均します体系の実効増倍率の変動というものに関しましては、影響はわずかであると。
0:07:21	いうこと。ただ本評価表におきまして水位低下時に不確定性が極端に大きくなって、冠水状態での不確定性を加えた実効増倍率であります 0.959 よりも大きくなる。
0:07:32	ことはない。
0:07:33	いうふうに考え
0:07:34	て評価しております。
0:07:36	とコメントNo. 6 と 7 に関しましては、宇井庄野。
0:07:40	久米でございます。
0:07:46	原子力規制庁スズキです。では
0:07:50	確認をしていきます。まずう。
0:07:54	資料 2-2 の 2 ページ目の、
0:07:59	3 ポツのところを説明していただいたんですけど、
0:08:04	説明の内容と何かちょっと、
0:08:08	そごがあるかなあと思うところがまず 1 点ありまして、一段落目の 3 行目。
0:08:16	水位の変動により、
0:08:18	入力値及び不確定性を変動しうる。
0:08:21	というところで、その 2 段落目 1 行目のところで、
0:08:25	2 行目ですね実効増倍率に 9 は気相部が支配的であると考えられるというふうに言っていて、結局、
0:08:34	水位を変動したときに、入力値はこれ変わるんだけど、不確定性は変動しうるものなんでしょうか。
0:08:43	支配的だと言ってることと、水位が変わると変動すると言ってるところの関係性がちょっとよくわからないので説明してください。
0:08:52	はい。あと関西電力の平尾でございます。ちょっと製造公差によります不確定性というものに関しまして実際に富田内で実効増倍率を算出いたします。
0:09:03	それに対しまして、増井線のところで実効増倍率を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:07	算出しますそれに対しまして入力値でございます製造公差ですね、それら一つずつ入力していきまして、一番大きくなった部分というものを不確定性というふうに判断しております、
0:09:20	表のロックですかね。
0:09:28	あ、すいません等、
0:09:30	表の 6 でございますね。
0:09:32	例えばですけども製造公差による不確定性というもので、例えばラックの内のり公差というものがございます。
0:09:39	こちらに対しましてはまず最初にノミナル値を入力させまして、ひとまず、
0:09:44	その見直しでの、
0:09:45	と実効増倍率を算出いたします。その後に対し、その後、製造公差の範囲内でおきまして、その入力値というものを変動させまして、その差分が最大となったものに対しましてこちら入力値というふうに記載されております、
0:09:59	このうちのリポーターによる不確定性を 0.0016 で上げましたというようなものが計算を実施しております。
0:10:07	それらを、
0:10:10	衛藤米さんの式ですね、で集約したものが
0:10:14	不確定性になりますけども、これは実際の実効増倍率というものに関しましては実際の水位の高さによって変動するものでございますので、と同様に、水位が低下した際におきましてあの時、
0:10:26	と製造公差によります不確定性というものは変動するものでございます。
0:10:32	原子力規制庁スズキです。
0:10:34	やっぱりよくわからなくてですね。
0:10:37	ある水満水の上、冠水の状態、或いは一センチヨウの状態、
0:10:46	製造公差に関する入力値。
0:10:50	を変えたときの応答感度が違うということを言います。説明されたと思うんですけども、
0:10:56	まず、
0:10:58	2 段落目の 2 行目の実効増倍率の寄与は下気相部が支配的であると言っているのにもかかわらず、
0:11:06	水を変えると、なぜか製造公差の感度をどう感度が変わるっていうのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	それは、
0:11:14	有意な話なのか。
0:11:18	単純にモンテカルロの収束性の状態が違うだけなのか。
0:11:24	どっちなんですかね。
0:11:27	結果的にということであれば私は何か、モンテカルロの収束状態の、
0:11:32	差が若干出てるだけのようにも聞こえるんですけど、
0:11:35	いかがでしょう。
0:11:37	関西電力の平尾でございます。
0:11:39	実際に不確定性は変動集とか感度は変更し、変動し得るかというもの にしましては、気相部の面積の割合と、面接といえますか。
0:11:50	気相部の割合が変動いたしますので、不確定性としても変動するもの でございます。ただこちら案等、
0:11:58	津野さんに示しますように、雨水が 1000mm程度までに関しましてはほ ぼほぼ横ばいございまして、あと実効増倍率は、液相停止階、
0:12:07	決定されているものなので、実際の変動幅というものに関しましては ほぼ、
0:12:12	と。
0:12:13	変動しないような値でございます。
0:12:18	原子力正常付戦闘幅についてほぼ変動しないって言うのはその製 造公差の大戸感度は、
0:12:26	実は本当は全然大したことなくって、
0:12:28	たまたま西大寺となるころを選んできたらこういうふうな、
0:12:33	数字のところで現れましたと言っているようにも聞こえるんですけど。
0:12:41	結局その液相部と気相部の差という、言っているのは液相側で、
0:12:47	中性子束の分布がほぼ支配されていて、気相側は単純に、
0:12:53	木曾が逃げてく中拙速。
0:12:55	の分が若干わずかに変化する程度ですよ。ではそれだったら、
0:13:01	液相中の高サノで大戸感度って、
0:13:05	なぜ変わるんだらうなってちょっと。
0:13:07	変わんないんじゃないのかなって。
0:13:09	思ってしまって、
0:13:12	本当に大戸感度が有意なのか、それともたまたまモンテカルロの話とし て、その程度のわずかな王道があって、
0:13:22	こっちはせ、この製造公差に対しては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:26	沖側に触れてました。こっちを変えたら小さい側に触れましたって、その程度のことを言っているようにも聞こえるんですけど。
0:13:35	実態のところ我々どのぐらいの応答感度があるのか見てないので、知らないですけども、
0:13:41	そういうことではないとするとしたら、やっぱり理論的にこういう傾向にあるってということが説明できるはずだと思うんですけど。
0:13:50	そこは何か説明が今んところはなくて、2段落目と3段落目の、
0:13:56	間には、単に主張していることが書いてあるだけなので、
0:14:02	なぜそうなるかってところは何も説明がないんですよ。
0:14:08	たまたま結果見たらそうでしたっていうだけのような、
0:14:12	見えるんですけどそうではないんですか。
0:14:29	はい。関西電力の福原です。ちょっともし違ったら事業本部からも補足いただきたいんですけども、
0:14:36	これ入ってますかね、これ。
0:14:38	まず、
0:14:41	これ。
0:14:42	先ほどの
0:14:44	従来会合でもご覧いただいています。
0:14:47	16ページの第3図ですね、
0:14:51	水位、横軸推移で縦軸実効増倍率、これが水が下がっていくに従って事故増倍率は下がっていくんですけども、先ほど平野が申した通り、
0:15:02	そのミリメートル、Dの水位があればですね、比較の実効増倍率はもう単調、1ケースを保つとこういうことをもって、
0:15:14	この状態を指してる表現がこの2ページの3ポツの2段落目の実効増倍率の企業は気相部が支配的であると。
0:15:26	いうのはそういう意味で我々記載させていただいています。今回の体系において実効増倍率をつかさどる受け手づけるのは、気相部ではなくて液相の方。
0:15:37	企業で決まってくるよという一つのがまずあります。ここは多分共通認識としてあるのかなと思ってます。今議論になっている不確定性というものなんですけども、
0:15:49	我々もともと冠水位ですね水3600のところ、
0:15:54	ので計算した不確定性を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:59	すべての先ほどの図ですね、の上に乗っける形で見ておけば、十分ですよという評価をしているんですけども、それに対して果たして本当にそうですかと。
0:16:11	いう問題提起が規制庁さん側からなされたというふうに理解していません。その時に、
0:16:18	今回代表的に 1000mmのところをもう 1 点ですね、計算して参りましたんで、そこその結果ですね数字としては、
0:16:27	もともと我々がお出しした、満水状態の時の数字よりも不確定性として小さいものが出てきたわけですけども、
0:16:37	そのその不確定性の大小の関係ですね、その水位によって不確定性がどう変わってくるのかっていう部分について、本日の資料ではあまりそこまで考察、
0:16:50	できていないというところは確かにちょっとそういうところもあるんですけども、私の理解としては鈴木さんの方から先ほども触れていただいた、いや、くしくもですね触れていただきましたけども、
0:17:02	モンテカルロの所則性、まわしてみたその結果の範囲の程度でのこの変化しかないというふうに私は少なくとも理解しているんですけども、事業本部違ったら補足お願いします。
0:17:20	関西電力事業本部の富樫です。今福原の方からご説明がいただいた通りでして
0:17:29	ここの部分については、液相部が支配的ということもありますけれども、今回の学生製のエンドウに一番大きく寄与してるっていうのはそのモンテカルロの収束性ということで今説明いただいた話で
0:17:47	私も同じ認識でございます。
0:17:51	原子力規制庁スズキです。やっぱりそういった意味では、
0:17:56	3 ポツの一覧、一段落目の 3 行目の終わりのところにある水変動により、入力値これはいいですけど、
0:18:04	及び不確定性は変動しうるではなくって、
0:18:08	不確定性は、優位に変動はしないんですよ。
0:18:12	関西電力言ってる主張は、
0:18:15	それであれば 2 段落目と繋がる気がするし 2 段落目の 2 行目から 3 行目も、
0:18:20	そう書いてあると理解できるので、そうであればそういうふうに、
0:18:26	説明された方が、不要な誤解がなくていいと思いますし、我々は工学的もしくは理論的に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:35	有意な変動があるところについて議論していると思ってますので、数値解析数学的に、
0:18:43	そのの
0:18:45	不安定性と言っではなんですけど収束性の問題は、それは我々議論の対象じゃないと思ってます。そもそもスケール自体を、
0:18:54	適用妥当性があると思っているので、
0:18:57	そういったところを議論するもんじゃないのでそこはしっかり資料で、
0:19:02	意味合いをちゃんと、もし書きたいんであれば書き上げていただければいいし、私自身は数値解析の収束性について書く必要があるとは思ってないです。
0:19:13	そこだけは言うておきますので、そういった意味であれば、
0:19:18	資料を修正していただいた方がいいかなと思い
0:19:22	はい。関西電力の福原です。
0:19:27	今回のこの体系におきましてですね例えばますEが高い方が、こうこうこういう理由で不確定性が大きくなります裏返していうと水位が低くなると、こういう理由で、不確定性が小さくなるんですよという説明があるわけではないそういう、
0:19:43	理論的な裏付け系はここ私ども今回のこのテーマにおいてないと思ってますので、朝繰り返しになりますけども、計算の収束性だけの話だと思いますので今ちょっとこの表現がですねやや誤解を招く水の変動で、
0:19:57	変わり得るという書き方になってますので、そこはちょっと誤解を招く表現になってますので改めさせていただきます。
0:20:05	原子炉規制庁鈴木です。ではですね、この説明でもう一つ
0:20:11	最終的に我々が、
0:20:13	冠水で代表性があると判定における代表性があるというところについてなんですけど。
0:20:19	まず、今この3ポツの説明は、
0:20:23	実効増倍率のノミナル値を解析しました。それに加えて、計算コード及び、
0:20:32	製造公差等の不確定性を加えた数字が、
0:20:38	最も高くなるのが、冠水維持なので、だから代表性がありますっていう説明になってるんですけど。
0:20:47	そういう判定の仕方っていうことで、正しいんですね。
0:20:52	まずやり方時判定の仕方自身が、
0:20:56	今まで決まってるものはないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:58	どういうふうに見るかなんですけど、
0:21:00	戻すものすごく厳しく見ればですね。
0:21:03	ノミナル値一番厳しいところと、不確定性一番厳しいところ、
0:21:08	これを重ねてしまって、
0:21:11	0.98 下回りますっていう言い方もあるかなと思ってるんですけどそういうことはやらないってことですね。
0:21:19	いややれって言ってるわけじゃなくてそれはやらないという説明をここにしているということでよろしいですね。
0:21:28	はい。関西電力の福原です。
0:21:32	おっしゃるようなやり方、手法を過去の許認可とかですねやっている例もあるのは私も承知しているんですけども、今回の場合はそういう
0:21:41	違う、時間軸っていうかフェーズの違うものを、のその悪いところ取りをしてやるっていうところは、今回私の中では考えなくてですね。
0:21:52	あくまで、同じすごい一つの数字の実効増倍率に対して、その時の不確定性はどうかっていうことを包むということでもまず評価はしています。
0:22:04	トータルですねそもそもそうしたときにどう判定してるんですかっていうところにつきましてはですね私どもはこれすべての水、慢性から水位 0 まで
0:22:16	のすべての状態において 0.98 深くて税込みで未臨界でないといけないというふうには思ってますので、お答えとしては、
0:22:26	すべての水において
0:22:27	見てますというのがお答えになるんですけどもいろんなグラフもお付けしてますのでちょっと文章の表現上はですねちょっとどこにも出てくると思うんですけども、見た目も先ほどの第 3 図の、
0:22:43	左肩下がりの単調減少、一番高いのは、満水のときですよというところでそこに不確定性込んでも、込みでも 0.98 以下ですよと。
0:22:53	いう、説明上の
0:22:57	上そういう表現をしている箇所もある、ありますけども判定としては、全水にすべての製品に対して行っているというのが我々の認識です。
0:23:08	規制庁スズキですまず、そこについては今回はっきりしましたので、
0:23:13	実はこれ申請書に何も書いてなくてですね、評価の方針っていうのに多分それが、
0:23:19	しっかり示されるべきだと思うんですね。
0:23:23	現状はもう、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:24	満水で当たり前じゃないか的な感じで結論しか書いてないんですよ。
0:23:29	やっぱり行為。
0:23:31	既認可と違うやり方をしてるし、
0:23:35	初めてやる。
0:23:37	評価の仕方なので、
0:23:39	そこはやっぱりどう評価しているどう判定してるってところは、
0:23:43	明確に申請書の中で、
0:23:46	示すべきだと私は思っていて、
0:23:49	そこはぜひ示していただきたい。
0:23:53	説明資料でも今んところそういう説明資料はないので、
0:23:59	そこその辺はいかがですか。
0:24:05	はい。関西電力の福原です。ご趣旨は理解いたしました。ただ、申請書、
0:24:12	とおっしゃられたんですけども、ちょっと私にわかになどどう書こうかなってというのがあっても使えないなっていうのはあるんですけども、
0:24:23	規制庁スズキ様、まずはですね先週の申請書の記載のところ、
0:24:30	関する説明書でものお話をしましたけど、
0:24:36	評価の基本方針ですとか、
0:24:40	計算方法っていう項目を立てて、いろいろ書いているので、
0:24:46	当然のことながら、その辺にですね、
0:24:49	入れ込んだり、もしくは別に判定法判定の、そういう所を独立させて、
0:24:57	どういう判定をするんだで、結果こうでしたっていうふうに書いていただいても別にそれは、
0:25:02	書きようはいくらでもあると思ってるんですけど。
0:25:14	関西電力の平尾でございます。藤今野。
0:25:18	お話、ご提案ありがとうございます。例えば、あと、いわゆるジャストアイデアにはなってしまうんですけども、
0:25:25	添付資料の2の便開票、
0:25:27	臨界に至らないことに関する説明書の
0:25:31	(2)本文の(2)計算方法の末尾ですね、こちらはCが、
0:25:38	あ、すいません
0:25:39	ちょっと申請書のページ番号で言いますと高浜P1の添2-3ページ目で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:12	吉井です。こちらの中でですね計算方法として体系を構成しますパラメータを設定しますと計算条件はこのようにしますというような説明をしておりますので、
0:26:23	その最後にですね新たな項目も受けまして評価の基準といったものを項目立てさせて、
0:26:30	家庭用と検討しておりますけどもそういった内容でよろしかったでしょう。
0:26:37	現状規制庁スズキですあの書き方おまかせしますので、
0:26:41	しっかりどういう評価をしてどういう判定をすることによって、何が確認できるんだという、しっかり流れがわかるように、
0:26:51	書いていただければ結構です。
0:26:55	関西電力の平尾でございます。承知いたしました。当評価の方法に関しまして等記載、箇所を検討させていただきます。
0:27:04	原子炉規制庁鈴木です。続けて同じ話なんですけど、
0:27:10	今の資料 2-2 の 2 ページの 3 ポツの、
0:27:15	ところで、3 段落目でなお書きで、
0:27:18	例示として、水をセンミョウとしたところでの不確定性評価結果を載せていただいてて、
0:27:28	この結果を見る限り、1000 日に落としたところでは不確定性は、
0:27:35	コンマ 0104 と言っていて、一方冠水の方は申請書ではコンマ 0115 と言っていて、
0:27:44	不確定性は下がっている傾向に、
0:27:48	あるのかどうかはわからないですけど少なくとも、1 点で見ると、
0:27:55	下がっていると。
0:27:56	これは下がるもんなんですかね。
0:28:01	それともここも、
0:28:03	あまり有意な差ではない。
0:28:06	大体この程度で、
0:28:09	液相が支配的なときには、大体この程度であるということなのか。
0:28:13	その辺がちょっとよくわからなくて細かく言うとですね。
0:28:17	このコンマ 0104 を、
0:28:20	マイナス 1000mmとこれで評価したのが、
0:28:23	同じ資料の 17 ページ載ってますけど、
0:28:28	それと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:30	申請書の冠水時のやつこれ参考として最終ページにつけていただいでますけど、
0:28:36	これ横目で見比べるとですね、
0:28:40	項目によって、
0:28:42	プラスになったりマイナスになったり、ばらついてるんですよ。
0:28:49	んな、なぜばらつくんだらう。
0:28:52	全体的に小さくなるとか大きくなるかっていう、
0:28:56	傾向。
0:28:59	ん当たるようなパラメータはこういうセットで、
0:29:03	そうじゃないパラメータ逆方向に行きますとか、
0:29:08	そういうイメージが持っている。
0:29:10	ような、本当に評価なのか。
0:29:14	それとも実はこれも、
0:29:16	ばらつき程度の話ですってということなのか。
0:29:20	ちょっとその辺がよくわからないので、その辺は、関西電力としてこの結果をどう受けとめているのか。
0:29:27	ちょっとお聞きしたいんですけども。
0:29:30	はい。関西電力の福原です関西電力の鳥羽でございます。
0:29:38	フクハラでございます。すいません。こちらですね、先ほどの
0:29:45	冒頭の話と通ずるところなんですけども、
0:29:52	要は、
0:29:55	水水、水領域ですね、気相部が支配的になっている範囲においては、もう、
0:30:04	不確定性っていうのはそれほど変わってこない変わったとしてもこの変わり方はモンテカルロの収束がどっちに転んだかてどうの収束性の範囲で変わっていると。
0:30:16	ということだと思っています。それがゆえにいろんなパラメータがプラスに出たりマイナスに出たりっていう、いうところ。
0:30:26	もうとってもそういう、
0:30:30	を見ましてもその傾向が出ているわけではないというのが私どもの理解でございます。トータルとしてプラマイン時期になって結果的に
0:30:42	同じに多様な少数第3位ぐらいの、良いですかねぐらいの差しか出てこないという理解ですけども、事業も違ったら補足お願いします。
0:30:57	関西電力の富樫でございます。今ご説明いただいた通りの認識でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:02	原子力規制庁スズキです。
0:31:05	多分そうだろうなと思って見てはいたんで、
0:31:09	そういうことであればちょっと更問なんですけど、
0:31:13	じゃあもっと水位が落ちたときって、
0:31:16	不確定性は広がるのか。
0:31:21	広がらずに狭くなるのか、それとも大して変わらないのか。
0:31:27	この、この辺はどうなんでしょうね何でそんなこと聞いてるかっていうと、 ずっと落ちて水が落ちていったときに、
0:31:34	呑み実効増倍率ノミナルちゃんとドーンと落ちますねこれコンマ1とか、 平気で落ちるわけですよ。
0:31:40	だけど、
0:31:41	不確定性もコンマ1広がりますって話になると、実は判定はあまり大して 変わらないとあって、
0:31:47	いうことに、
0:31:49	なってないですよっていうことは、今要するにマイナス1000mmまで は実は不確定性はほとんど変わらないんですと、ばらつき程度ですと。
0:31:59	で、ノミナル値が若干下がってるので、先ほど言った判定の仕方として、 合算したとき見たときにコンマ98。
0:32:06	一番近いところですか、冠水維持ですっていう話だとすると、
0:32:10	じゃあ、
0:32:11	マイナス2000なったときに、
0:32:14	確定し、
0:32:15	がドーンと広がらないような、
0:32:19	そういう傾向に
0:32:22	定性的に、そうなるはずですよみたいな話が、
0:32:25	何か補足であれば、
0:32:28	そういう説明があった方が1000-1000mmぐらいまでは不確定性実は ばらつき程度なんですよってというのは、
0:32:36	受け入れられやすいのかなというふうに思うんですけど、説明として通 りやすいのかなと思うんですけど。
0:32:45	何かその理論的もしくは定性的にこんなものであるみたいな。
0:32:52	ことっていうのは何か説明できますかね。
0:32:56	はい。関西電力の福原です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:01	ちょっとどこまでしっかりご説明できるかは自信がないですけどもまず私の理解だけ申し上げますと、これたとえ水位 0 のところの不確定性を求めに行ったとしても、
0:33:16	大して変わらない数字が出るだろうと思っています。モンテカルロの収束の範囲、程度の差、になると。
0:33:27	いう理解でございます。ちょっと事業本部違ったら、お願いします。
0:33:34	電力、事業本部案と書いてございます。私もその認識では 5 あるんですけども、一方で、なかなかこの部分定性的に、どっちどちらが
0:33:46	多くなる、小さくなるっていうのも、一方で、なかなか定性的にどういう仕組みでっていうのも言いがたいですけども、過去、過去の評価等々の
0:33:57	感触としまして、基本的には大きくならないっていう、
0:34:03	アベネモトに対しても大して変わらないっていうところ認識は同じかなと。
0:34:11	規制庁鈴木です。そこはですね私なんかちょっとよくわからなくてですね、なぜかっていうと、
0:34:19	許可のときにさんざん冠水している状態もしくは液相の中、
0:34:26	どういう中性子の動きしてるんだらうねって話をしてて、私の感覚ですけど、
0:34:31	液相って多分、
0:34:34	集を体の中で発生した中性子は主要THAIの、
0:34:38	外に行って、核分裂を起こすところまで寄与できなくて、
0:34:44	多分同一週を胎内でやりとりしてる程度。
0:34:48	そもそもその年、ラックピッチが、
0:34:52	そこそこあるので、
0:34:54	そんな状態なんだらうなど。
0:34:56	思っていて、一方液相の水密度の条件になると、
0:35:01	何楽ぐらいの範囲で、それが影響するのかわかんないですけど、
0:35:09	そうすると、
0:35:10	燃料品、
0:35:12	の製造公差だとか、
0:35:15	燃料ペレットの製造公差みたいなところは多分何も、
0:35:19	変わんないと思ってる、
0:35:21	一方で、ラック腔の中心間距離の高さだとか、そういったのが、
0:35:28	どういうふうに偏差させる位置をさせれば多分何も変わんないと思うんですけど、爪詰めに何か真ん中に寄せるとか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:36	そんなのを考えると、実は何か少し違うんじゃないのみたいな。
0:35:41	気もしていて、
0:35:43	全く同じです一応臭い同じはずですけどっていうのも何か、
0:35:48	私の中ではすとんと落ちてこない。
0:35:52	というような、
0:35:53	何か、
0:35:55	説明みたいなやつが、
0:35:57	何か、
0:35:58	ないと。
0:36:00	そうでしょうねって何か誰もが納得できないような気がするんですけどいかがですか。
0:36:06	はい。関西電力の福原です。今鈴木さんがおっしゃっていただいた現象論としてはまさしくその理解で我々も同じでございます。
0:36:16	その現象を考えてよく考えてみますとですね
0:36:22	封水が薄くなると中性子はどこまで飛びます総体先まで行くことになる、なります。そうした時に今ここで考えてるその製造公差であったり、
0:36:33	というものの
0:36:36	中性子のレンジいして、
0:36:38	と比べた時にですね、この公差っていう部分が中性子の指定に対して非常に小さい値です。せいぜいものの出来栄でも進み 0. 波ですかね非常に小さいものを、
0:36:52	大野伴しかありませんので、何メートルも途中で取りますよって言った時にその、そういう意味で 0.7mm の違いっていうのは、これは不確定性には効いてこない。
0:37:03	であろうと、むしろむしろ聞くとすれば、より近いレンジで獲物形状が起きているときに、こそ不確定性も製造公差の大きい小さいが、むしろ逆に聞くぐらいじゃないのかな。ちょっとそこは言い過ぎかもしれないですけども、
0:37:20	そういうことも踏まえて、私先ほどトントン、結局、不確定性のモンテカルロの収束性の範囲ぐらいの差しか水位 0 のときでもきつと出ないんじゃないかと。
0:37:32	申し上げたのはちょっとそういう考えからでございます。
0:37:37	規制庁鈴木ですもともと液相の。
0:37:40	範囲内でやってるような話んところでも、
0:37:44	同じ資料の 21 ページの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:48	4-5 図、
0:37:49	何か先ほど私が言ったような、
0:37:52	牛というイメージなってるし、来そうになって、
0:37:57	こういう範囲まで広がったとしても、
0:38:00	今言ったような説明でそもそも液相でもそういうことを考えてやっていたのに、そこは木曾んなっても同じ考え、やり方は変わらないので、
0:38:09	その程度の、
0:38:11	範囲内での不確定性。
0:38:13	でしょうねと。そういうこと。
0:38:16	と理解しましたが、それでよろしいですか。そうですね。今おっしゃった通りですけれども、この 21 ページの図にしてもですねよくご覧いただきますとおわかりいただけるんですけども、
0:38:27	どんどんどんどんその 0 に向かって寄ってきているわけではなくて、結局せいぜいこのラックの枠っていうのも決まっていますので、
0:38:37	揺れてる量というのはどんどん累積していつて寄ってくるわけではありませんので、そういう意味からも先ほど中性子の指定に対してよれる量、物の公差っていうのはもうタカハシれてるんですよというのそういう意味でございます。
0:38:52	原子力規制庁スズキですんでそういったことは少しちょっと、
0:38:56	資料の方に補足していただいて、まず、
0:39:01	液相が支配的なところの説明と、
0:39:06	先ほどのばらつき程度の話だと言ってた話と、
0:39:10	邪気層が大きくなってきたときの、
0:39:14	気相部に入ってくる水の密度、
0:39:17	がある程度あった時であったとしても、今言ったような定性的な、
0:39:23	考え方で、これが不確定性が、
0:39:27	ドーンと大きくなるような話ではないんだと、そういう説明をしていただければ、
0:39:33	それをもって全体的に、結局ノミナル値＋不確定性で最大のところを代表値としますと。
0:39:41	その説明にちゃんと繋がるのかなって気がするので、
0:39:45	そういう説明を、資料の方で、もう少し詳細にしていただけますか。よろしくをお願いします。
0:39:54	関西電力の平でございます。承知いたしました。
0:39:59	原子力規制庁スズキですんで、ちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:03	先ほどの申請書の書き方のところ戻っちゃうんですけど、
0:40:13	今不確定性の話をしてたんですけど、一方でノミナル解析の方は、気相部の不確かさ、
0:40:21	入力パラメーターの不確かさを、
0:40:25	どの程度あるかっていう感度解析をしたりとか、とかして見てるんですけど。
0:40:31	その不確かさっていうものと、
0:40:34	不確定性っていうのが二つ混在してるわけですよ。
0:40:38	で、
0:40:39	この扱いが、
0:40:41	実は申請書の中で、
0:40:43	明確になってなくて、
0:40:45	普通に読んだ人が、
0:40:48	両方は違うもので、それぞれどう使い分けてるんだっていうところが、
0:40:54	読み取れるのかなっていうのが若干疑問があって、その辺も多分書き方次第だと思ってるんですけど。
0:41:01	その辺をどういうふうに使ってるんですっていうあたりは、
0:41:06	わかる程度には、何かこう、申請書の中で、
0:41:11	どう扱いますっていうところが書かれてたほうがわかりやすいし、
0:41:17	どうしてそう分けて扱うのかっていうところは、これまでの評価の流れとかいろいろあるので、その辺は、
0:41:24	補足のほうでしっかり使い分けるんですっていうところは、
0:41:28	ちょっと作っていただけるとありがたいかなと思うんですけど。
0:41:32	いかがでしょう。
0:41:33	関西電力の平尾でございます。当本申請書等の中で使っております不確定性と不確かさの使い分けですとか定義に関する部分に関しましては資料の方に盛り込みさ、織り込みたいと思います。
0:41:48	はい。よろしく申し上げます。
0:41:54	6番と7番について規制庁側から他にありますでしょうか。
0:42:00	規制庁のオクですか。
0:42:01	ちょっと確認。
0:42:03	17ページに関して、
0:42:07	クドウの問題カードの不確定性集測定について議論がありましたけれども、モデルっていうのは基本的にやっぱり確率的な手法ですので、乱数のシートの設定によって結果は当然増えてくるんでそれを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:18	まず平均化したものを最終的な解として対応するということだと思う。
0:42:22	姫野計算コードの不確定性のところにある、0.03 とか 0.0
0:42:28	その統計的な不確定性のことを示してるなと思っていて、
0:42:32	その他にある政策大谷。
0:42:35	特定性っていうのは、それにも、
0:42:37	0.095 とかちょっと小さい値になってると思う。
0:42:40	要するに、
0:42:42	も踏まえて考えると、
0:42:45	計算コード不確定性よりもこれ有利な、
0:42:47	酒匂さんによる確定したい言わないっていう、そういうふうな読み方になるのか、その辺りでどうでしょうか。
0:43:02	関西電力の福原です。すみませんちょっともう一度 17 ページの表でよろしかったですかちょっとどこの法人のことをおっしゃってもう一度すみませんお願いします。一番上の、
0:43:14	多分計算コードの不確定性っていう欄があると思うんですがはい。
0:43:17	これ平均誤差が 0.0007 ってなってる。
0:43:21	では 95%信頼度 95%確率が 0.065 となってると思います。
0:43:25	これはモンテカルロ方法論的な不確定性のことを示してるんだと理解していて、計算結果って当然警察ごと若干ばらつくと思います。それを平均化したものが最終回になると思うんですけども、
0:43:35	それを会を求めるにあたってのそのばらつきのことを多分ここで統計的に示してるんだらうと理解し、
0:43:41	一方その下の製作公差に基づく不確定性のところでは入力値を変動して、買い求めた結果、どれくらいばらついたかっての不確定性の欄にまとめられてると思うんですけど、
0:43:51	これがそのウエノ計算コード不確定性の、
0:43:55	何とかIPネモト寄託なんていう見えるので、
0:43:59	どちらというのはその計算コード不確定性の方が有利なのかなっていうふうに見えてしまうんですけどそういう理解。
0:44:04	読み方で正しいでしょうか。
0:44:07	はい。関西電力の平野でございます。
0:44:11	今おっしゃられました計算コードの不確定性に関してなんですけども、ちょっと資料 2-1 の 1 ページ目のですね(1)の 2 段落目、
0:44:21	こちらで衛藤。
0:44:23	の計算コードの不確定性とは何かというものを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:26	ちょっと解説させていただいておるのですが、そのあと計算コードの、
0:44:32	この2-1-2-1のページの1、
0:44:36	すいません2-2でござい、すいません本資料ですね、本資料の2ポツの(1)、
0:44:42	の2段落目の中段ほどからですね。
0:44:45	藤。
0:44:47	と計算コードの不確定性というものに関しましてはですね。
0:44:50	委員会人権ベンチマークとの計算、
0:44:55	1本、SCALEコードを用いて計算した時の差。
0:44:59	から、道場書かれているものでございまして、いわゆるモンテカルロによる収束の誤差とはまた別のものでございます。
0:45:09	はい、はいその通りでござい
0:45:11	ベンチマークを実施した結果、実際の実験体系との今回解析した差っていうのはどれほど出るのかというものを値したものでございます。
0:45:21	はい。慶長の奥です。左の表はそういうことだろうと思うんですけど一方、第6表の小ウエノ計算コード不確定性って何を決めて何を示してる。
0:45:33	24ページ。
0:45:35	はい。24ページ目の上の段のと、いわゆる計算コードの不確定性というものがですね、
0:45:42	ページで言いますと5ページ目の第2表にですねスケールバージョン6.0システムの平均誤差と不確かさ、そういった表を
0:45:51	家へ掲載しております。こちらで委員会で臨界実験、ベンチマークの結果と、それからピッチ引かれましたSCALEコードとの誤差というものを算出してございまして、
0:46:02	現在採用している値といたしました。
0:46:05	すべて使用しましたベンチマーク解析結果のうち、燃料要素に着目いたしまして、ウラン燃料を用いたこちらのベンチマーク系。
0:46:16	ケースからも導きむミツイされましたその平均誤差と不確かさを使用したものでございます。
0:46:24	形状のオクです。わかりました。平間さん。
0:46:32	そうですケース、モンテカルロ計算の収束性っていうことを考えるときにある程度計算結果って若干ばらつくと思うんですけど、当然、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:40	そのばらつきみたいなことはどういうふうのエラーバーとして評価されている辺りって特に何か評価されてることがあるのであればちょっと教えて。
0:46:51	はい。関西電力の福原です。モンテカルロの計算の誤差につきましては、十分な数の
0:47:01	球といいますかなんていうんすかね。等を使いまして
0:47:08	計算することによって
0:47:13	十分低い値に保っているというところなんですけども、何か、ごめんなさい、事業本部でいけますか。
0:47:28	関西電力事業本部の富樫でございます。すみません私もちよとはつきりは、ご質問伺ってないかもしれないけど、17 ページのウエノ計算コードと、
0:47:41	製造公差の特定性ということで、こちらは計算コードの方が、
0:47:48	優位ではないかっていうようなお話がもともとのご質問だったんですかねそうであればこの数字を見る限りはそうのように見えますけれども、
0:47:59	すみませんちょっとあまりその辺がご質問、理解できてないかもしれないですけども、
0:48:05	すみません関西電力の平野でございます。モンテカルロの収束の誤差というものに関しましてただいまの福原赤木説明させていただきました後、十分な
0:48:15	玉の数ですね中性子の解析活動を用いて、なるべく収束させているというものでございますし、事業本部の方で間違っていた訂正していただきたいんですけども、
0:48:26	今回表の 17 ページの第 6 表の、
0:48:30	下から四つ目の枠ですかねこちら $\Sigma$ といたしまして統計事で 0.005 を積んでおります。こちらの範囲の程度
0:48:40	モンテカルロの誤差というものも考慮できているのかなというふうに考えております
0:48:49	笠井出野君。
0:48:51	小橋でございます。今ご説明いただいた通り、統計誤差としてはこちらに記載の CIGMA で記載してあるところに向けて考慮しているというところでございます。すみません規制庁の奥です。了解しました。ありがとうございます。
0:49:11	規制庁宗です。規制庁側からは、今の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:16	資料3でいう、6と7について追加で確認はよろしいですかね。はい、じゃあ、続けてですね。
0:49:25	8の方の説明をお願いします。
0:49:38	はい。関西電力の平でございます。それではコメントNo.8といたしまして分水で臨界となる臨界実験の体系の詳細と、徒歩
0:49:48	と本評価体系に展開した際の見解を述べること。
0:49:52	ということに対して解説をさせていただきます。
0:49:54	あと資料は2-2の1ページ目の2ポツの(1)番からでございます。
0:49:59	衛藤先ほど先行して少々話させていただきましたけども、
0:50:05	よろしいでしょうか。
0:50:07	まず臨界実験ベンチ食う。
0:50:10	の、まず意義というものの部分からご説明させていただきます。
0:50:14	あと
0:50:15	本解析コードスケールバージョン6.0の使用に対しましては臨界実験、ベンチマークを行うことによりまして、実際の実験体系で与えられる実効増倍率から、
0:50:27	検査、実際に解析した際にどのぐらい解析の誤差が出るのかというものを、
0:50:32	算出しております。
0:50:34	一方です、この(1)の1、2、3、
0:50:39	3段落目、3行目の後半でございますけども、
0:50:43	本評価体系と完全に一致するその委員会実験というものはこのように存在しておりません。
0:50:49	そのためです、国内のPWRの燃料貯蔵設備ですとか、コアの燃料使用のパラメータ範囲に基づきまして、それらを包括するような形での臨界実験を選定しているものでございます。
0:51:02	その結果から本ベンチマーク解析を実施することによりましてSCALE 6.0が本評価に対して適合することが妥当であるというものを評価しておるものでございます。
0:51:13	ここですと水位が低下時の時、
0:51:16	この実験体系に関する詳細でございますけどもまず(2)の部分で、甲斐主査。
0:51:23	(2)でございますけども、分水の委員会となった実験体系というものは第3表を後ろにいくつかつけておりますけどもそちらで集約させていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:33	このようにですね臨界実験においておきまして水位を変動させることによって臨界を取る実験というものは、数多くございましてそれらに対しては水、
0:51:44	を調整して実施した臨界実験というふうにみなしております。
0:51:49	頻回し、ベンチマークした臨界実験のうち、分水飛んで2回やったケースというのはこの程度ございますけども、
0:51:56	その平均の強い場合、計算値と測定して、
0:52:00	そちらに関してましては十分一致しております、特異な傾向はございませんと。
0:52:06	ただSFPの水位低下時におきまして、
0:52:09	SCALEコードを使用することは妥当であると。
0:52:12	すなわちイトウついで梶野ベンチマーク臨界実験ベンチマークを適切に行うことができているというものにたい。
0:52:20	ことをもってましてこちらの水位低下時の委員会で一番、
0:52:24	次低下しにおきましても本評価体系、SCALEコードを0.6.02によって解析できること、解析することができるといったことを示すためにこちらの水の、
0:52:36	セイキ%シノニ相臨界実験ベンチマークをずっと実施しているものでございます。
0:52:51	原子力規制庁スズキです。まず
0:52:55	計算行動の不確定性の説明において、資料のつくりが今これごっちゃんなっててですね。
0:53:05	ええ。
0:53:07	本問題に、
0:53:10	適用妥当性があるか、SCALEコードの
0:53:14	それについては我々としてないんです。
0:53:17	これは新規規制基準適合性の時から、
0:53:25	資料2-1の1ページの2ポツ両括弧1の、
0:53:30	下から2行目の、
0:53:34	妥当性確認に供試した臨海米千葉会石化何ケースか。
0:53:39	ていうのは、説明を受けているので、
0:53:43	それ変わらないんですよ。新規センターから、今回の申請においても同じように書いてあると思ってる。
0:53:49	そう。それについては我々としてないので、その説明は、
0:53:54	別にしてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:56	我々説明して欲しいと思ってないので、
0:53:59	むしろ書かない方が、
0:54:02	混乱を招かないと思っています。
0:54:05	我々が気にしているのは、不確定し計算コードの不確定性の、
0:54:12	評価を、どういうデータに基づいてどうやったのか、それが、
0:54:18	10期、
0:54:19	に当てはまるような、
0:54:21	実験ケースなのかっていうところを気にしているので、
0:54:26	そこに集中した書き方にしていきたい。
0:54:31	まずそれが、資料のつくりとして、
0:54:33	1点お願いしたいところです。次に、
0:54:37	1ページの、
0:54:39	2ポツ両括弧1の、
0:54:42	先ほど言ったように下から2行目の、
0:54:45	ところですけど、
0:54:49	SCALEコードの妥当性確認供試た臨界ベンチマーク数というのと、
0:54:55	出るた形。
0:54:57	コンマ007。
0:54:58	9595
0:55:00	信頼度確立、コンマ0065。
0:55:04	これは関係なくて、
0:55:07	その出るた形、これむしろCだと思うんですけど、ユリと西井って書いて欲しいんですけど。
0:55:13	申請書で言ってること聞いているので、申請書の記載。
0:55:17	と同じように変えてもらいたいんですね、まずは。
0:55:21	出るだけは書いてあるんですけどイプシロンCって書いてないですよ ね。
0:55:27	出るだけ及び黒イプシロンCは、
0:55:31	FPを含まないウラン燃料の、このケースに対して評価したものである と。
0:55:38	そういうこと。
0:55:40	なので、それだけですよねまず説明される不確定性として説明されるも の。
0:55:47	で、
0:55:48	一方で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:50	その同じ段落の最後の末尾、水位低下した際でも使用可能である、これは出るた経緯クシオンCが水位低下しても、
0:56:00	使用可能であると。
0:56:01	いう説明をしてると思うんですけど。
0:56:04	それって、下の両括弧 2 の、
0:56:09	4 行目の、
0:56:11	ケース数、
0:56:14	部分推移で臨界となったケース数、
0:56:18	これと直接的に関係が、
0:56:21	あるという説明。
0:56:23	何ですか。
0:56:26	それとも、それとも違うものを言っているんですか。
0:56:30	どっちでしょうとはい関西電力の平尾でございます。
0:56:33	こちらの下の
0:56:36	(2)の中で書いてあります衛藤部分水位で臨界となったケース数というものに関しましてと、あと(1)の下段の方に記載しております。
0:56:45	あと本評価で使用したとベンチマークすとFPをウラン含まないウランの燃料の係数、こちらの中にあると。
0:56:52	ですね。
0:56:57	含まれているものでございます。一部が含まれているものでございまして、
0:57:01	イトウすみませんと、ちょっと何件かが今すぐには出せないんですけども、確か 30 ベース程度はもうフクマの規制庁添それは、
0:57:15	同じ資料の 6 ページから、
0:57:22	11 ページまでの、
0:57:26	水位調整による時臨界実験、ここの解析ケース数、
0:57:31	これを合計すると、
0:57:35	両括弧 2 の 4 行目の部分水位で臨界となったケース数に合致する数字は、酸素は合ってると思って。
0:57:46	そのことを言ってるかなと私は推測しているんですけど、その先ほど言った、
0:57:52	第 3 表の、
0:57:54	10 ページ 11 ページは、
0:57:58	Uじゃないんですよ。
0:58:00	多分MOXなんですよ。その通りでございます。なので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:06	すべてが内数じゃなくって、
0:58:10	集合が一部ずれてるところがあって、
0:58:13	結局、
0:58:15	両括弧 1 の最後の 1 を、水位低下した際でも使用可能であるっていう結論は、両括弧 2、
0:58:24	の、
0:58:27	部分水位で臨界となったケース。
0:58:30	数、
0:58:31	の話。
0:58:34	は、何かちょっとずれているので、
0:58:37	まず我々、
0:58:40	両括弧 1 で書いてある $\Delta k \in C$ 。
0:58:44	これが、
0:58:46	何なんですかっていうことをまず聞いているので、
0:58:50	そうであればそこに関係ない話は、
0:58:53	説明しないで欲しいんですよ。
0:58:56	混乱してしまう我々、
0:59:01	まずそこを正しい
0:59:04	ものにしようとするとうなるか。
0:59:06	イメージだけ説明してもらえますか。
0:59:09	はい。関西電力の平野でございます。
0:59:11	遠いほど、藤スズキさんがおっしゃられました通り、
0:59:15	第 3 の
0:59:18	6 分の 5 の 6 分の 6 で示しております臨界実験ベンチマークの内容と いうものに関しましてはおっしゃる通り MOX 燃料。
0:59:27	を想定しているものでございますのでと。
0:59:30	1 ページ目の、
0:59:34	(1) の下段で記載しておりますウラン燃料の係数、こちらには含まれて おりません。
0:59:39	一方ですすねこちらの、
0:59:42	表 6 も含めた状態はなぜ含めていないのかと言いますと、
0:59:47	当委員会実験ベンチマーク数をふやせばふやすほどですすね不確かたで すとか平均誤差というものがどんどんどんどん小さくなっていってしま いますので、今回はその中でも保守的にも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:00	確認するために、残燃料に着目した、こちらのベンチマークケース数というものを算出するために、不確定性学生と平均誤差と、
1:00:10	あと不確かさを算出しているものでございます。
1:00:13	なので
1:00:15	こちらの第 2 章、
1:00:19	ページ番号で言いますと 5 ページ目の第 2 表で、こちら集約しているようなものでございますけども、一番右の、
1:00:27	とウランプラスMOX燃料カッコFP割というもの、こちらちょっとFPが入ってしまっておりますけどもすべて足し合わせると、あと今回の臨界試験、SCALEコードのベンチマークすべて網羅させていただいたものというものがこちらの
1:00:41	平均誤差と不確かさになるというものでございます。
1:00:45	と、
1:00:47	こちらの比表の 6 分、6 分の 56 分の 6 を抜いた理由としましては平均誤差と不確かさに保守性を持つということでございます。
1:00:57	規制庁都築です。
1:01:00	保守性の使い方がわからないんです。
1:01:03	な保守性ってそこで何を言ってるんですか。
1:01:08	なぜそ、その保守性を持つ持つ必要があるんですかね。
1:01:13	関西電力の福原です。ちょっとそこら辺の考え方は、大分以前の審査の時カラーだと理解しているんですけども、
1:01:23	実効増倍率をまあまあ高める高めについていうか、厳しく出るように、そこら辺の前提を操作してるっていうか置き方を、ちょっと厳しめ苦しめ苦しくなるように、設定していったという理解でございます。
1:01:39	先ほど関西電力フクハラマツキさんから、別のところでありましたけども悪いところ取りって言いましょうか、有り得ない組み合わせのものをある意味考えているような世界かなというふうに思います。
1:01:55	規制庁鈴木です。
1:02:02	よくわかんないんですけどまず高浜 12。
1:02:06	は、
1:02:07	もうそもそも、
1:02:09	SFPにボックスも入らないので、
1:02:13	入らないですよ。
1:02:15	12 号のSFPは、
1:02:18	高浜 34 の使用済み燃料と共用してないっすよね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:23	なのでウラン燃料しか入らないですよ。なので、まずそこは合っているの、
1:02:29	保守性云々とかって話はないと思ってて、単純に、
1:02:34	FPを含まないウラン燃料として評価した数字がこれです。高浜 1 人はその通りです。いや、逆に言うよね。
1:02:44	高浜 34 の計算コードの不確かさとして評価すべき数字は、
1:02:50	当然MOX入るので、
1:02:52	オク数まで含めた、
1:02:54	評価を、
1:02:56	して当然で、
1:02:57	それがね。
1:02:59	等含めた場合と、含めない場合でやってみて、どっち側の方が厳しいんで、
1:03:07	MOXが少ない領域もあるでしょうと。
1:03:11	入れ方もですね、SFPの
1:03:14	さっき話してたように、
1:03:17	臨界の観点でいうと、
1:03:20	液相中っていうのは、
1:03:22	それ自身、
1:03:24	の集合体でほぼ決まってしまう可能性があるの、
1:03:28	ウラン燃料とMOX燃料で、
1:03:30	その辺が固まってるようなところばらけというようなところとかいろいろシチュエーションがあって、
1:03:35	もうそれ考えると、どれでやるのがいいのかなっていろいろ悩んで、
1:03:39	評価した結果、
1:03:42	一番数字が大きいやつでやっておこうと。
1:03:46	そういうふうに分り切りましたっていう程度の問題で保守性とか何とかって話じゃないと思うんですよ。
1:03:52	ですよ多分。
1:03:55	等々と思うので、保守性っていう説明を私はちょっと理解できないんですっていうそういうことです。
1:04:02	で、
1:04:04	今回高浜 12 はもう、
1:04:07	AFPなしのウラン燃料で出た経緯クシオンCを評価しました。
1:04:14	で、それについての部分水への適用性については、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:18	そこに部分水の臨界実験含んでいるので、もうすでに評価済みですと。
1:04:25	例えばもうべらぼうに水が落ちるような話じゃなくって、やっぱさっき言ったように 1000mmぐらい、トップから 1000mmぐらい落ちるようなところが支配的なんで、
1:04:35	そういうようなものは、もうもともと、
1:04:38	含んでるんですか。
1:04:40	そういう説明ですってことであれば、
1:04:45	第 3 表の、
1:04:47	MOXのところまで入れる説明ってな、なんで必要なのかなっていうふうに思うので、
1:04:53	余分なんじゃないですかって話をしたんですよ。
1:04:57	いや確固たるね、何か言う。
1:04:59	何かこう考え方があって、
1:05:01	関西電力のプラントなんか全部で同じように使えるものを、
1:05:06	一番、
1:05:07	結果が厳しくなってるようなものをこう評価してきたやつで、それで選んでるんですっていうのは別にご説明されてもいいですよ。
1:05:16	それを否定するわけじゃないので、
1:05:18	ただ、ちゃんと説明していただかないと、何を、何のデータをどう使ってるのかよくわからないので、そこははっきりしてくださいということです。
1:05:28	そこはよろしいですか。
1:05:31	はい。関西電力の小原です。ちょっと新しい良く理解できてないかもしれないですけど、まず 1 点目のその保守性っていうところは、ちょっと言葉遣いが、
1:05:43	まあまあを追うような言葉遣いになってますよねっていう。
1:05:48	ふうに理解したんですけども、そういうことでいいですか。いや、使い方が悪いんだと思います。
1:05:56	そういうふうにするものじゃないですよ保守性で。
1:05:59	ということです。
1:06:01	関西電力の福原です。足した結果、実効増倍率を高めになるようにいろんな前提を置いていうことを我々保守性を積んだっていう表現でここは使わせてもらってるんですけどもそれは使い方間違っているということですかね。
1:06:20	間違っているのかどうかよくわかんないんですけど。
1:06:24	何、何をってそれが保守性なのかな、教えて。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:29	何か期待するところがあって、
1:06:31	それより高目になってますっていう話を、例えば耐震計算するときね。
1:06:38	基準値に対して、もっとこの半分ぐらいの応力でないと合格にしませんとかね。
1:06:46	そういう言い方は保守性だと思うんですけど、
1:06:51	今、何が正しい姿で、
1:06:55	ていうと、多分、実験が正しい姿なんですよ。
1:07:01	実験値に対して、
1:07:03	Cは評価しました。そのばらつきについて、
1:07:07	ワンシグマ評価して、95%90%信頼確率評価しました。そこにさらに何か保守性って何か、
1:07:15	あるんですかって。
1:07:18	あくまでもトーク統計確率を評価しただけの話なので、
1:07:24	その母集団が違うから結果違いますって言うだけですよね。
1:07:30	母集団の選び方たに何かしら意味があって、
1:07:36	ここにはこういうのを使うべきだっていうので、いや、でもそれより加工した方が、結果が厳しくなるので、
1:07:45	こういう母集団にしましたっていう説明が、
1:07:49	それが何か保守性低位なのか。
1:07:52	そう思ってるんだったらそう説明していただいてもいいですけど、我々何をしてるのかいうちょっと保守性の一言でわからないので、
1:08:01	使いたければ、しっかり説明をしていただいて、使わなくても説明できるのであれば、使わないほうがわかりやすいんじゃないかなって思っただけなんですけど。
1:08:15	関西電力の福原です。
1:08:17	保守性ちょっと別の言い方をすると実効増倍率をより高めに見積もるように、
1:08:24	とても言い換えればよかったという感じなんですかね。ちょっとごめんなさいちょっとわからない。ちょっとまたはい。
1:08:33	言動させていただきます。
1:08:39	あともう1点江藤ご指摘いただきまして(2)の記載されてるケース数っていうのは、
1:08:46	もう一つ上の係数のところに入ってないもので、があるのであればと。
1:08:52	この不確定性、
1:08:54	不確定性を算出したケース数に合わせていただきたいという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:01	ご趣旨の内容だったかと思えますけども、我々許認可すみません規制庁鈴木ですちょっとそういう趣旨で、
1:09:09	やって欲しいということを行ったわけじゃなくて、
1:09:11	資料の両括弧 1 の末尾。
1:09:16	水位低下した際でも使用可能である。
1:09:19	FPを含まないウラン燃料のケース数で評価した出るた形。
1:09:24	イプシロンCは水位低下した際でも使用可能であるっていうふうに書いてあってその下に両括弧 2、
1:09:30	が続いてて、その説明がなされている。
1:09:33	て読めるんですよ。
1:09:35	でも見ると、そうじゃないものも含めて説明しているので、
1:09:40	その繋がりが違うのであれば、違うってことはっきりしていただいて、何を説明しているのかって明確にしないと、
1:09:48	この説明を誤解する可能性がありますよね。
1:09:52	ということ言ってるんですけど。
1:09:56	今 5 種ちょっと関西電力の平野でございますけどご趣旨は理解させていただきました。なので資料の適正化案といいますか適正、
1:10:07	検討している内容といたしましてはFPオオクマ内部断面のふにゃふにゃケースに対し、
1:10:12	その中には(2)で示している衛藤水位低下の実験結果がございますので、水位低下した場合でも使用可能であるといったし、結びにさせていただきますたいと思い、
1:10:27	規制庁スズキです。
1:10:30	含んでいる含んでない、含んでなければわかりやすいんですけど、
1:10:34	含んでいても、
1:10:38	含んでない場合と同じように、
1:10:41	特異な傾向は見られないっていうこともいえるんですか。
1:10:48	関西電力の平野です。
1:10:50	と含んでいる含んでない場合とまず、衛藤。
1:10:53	椎葉伊井というものは 1.0 近傍でございますして特異な傾向はございませんのでと。
1:10:59	同様に検討しよう可能であると。
1:11:02	評価しております
1:11:03	原子力規制庁するその説明がないとわからないんです。
1:11:09	他のものも含めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:11:12	CbyEが、
1:11:15	良好で、
1:11:18	かつ特異な傾向が見られない。
1:11:20	というふうになるのか、それを含まないとそうじゃなくなってしまうのかは読めないので、
1:11:28	しっかりそこは説明して欲しいんですね。
1:12:06	いやいや、原子力成長するケースそんなことじゃなくって、
1:12:09	使用可能である。それはっていうのが両括弧に書いてあると思ってるんですけど。
1:12:16	それは違う。私の読み違いですか。
1:12:20	ちょっとそこは説明してもらえないと。
1:12:23	江藤。はい。関西電力の平野でございます。(1)の末尾でですね水位低下した際でも使用可能であると記載させていただいた意図としてはですね、
1:12:33	今回のスケール構造のし妥当性の確認のために投資をしましたベンチマーク解析の中には、
1:12:41	透水慢性のものもございます。あれば、スイテイカジ分水のものも、ベンチマークの解析の中で使用しております。それはすべて、すべてといいますかこのFPを含まないウラン、
1:12:54	免除体系ケース分を、
1:12:57	の不確定性と平均誤差より、こちらの $\Delta k$ と、
1:13:03	$\Sigma C$ を算出しておりますのでこちらに関しましては冠水状態でも、水位低下時においても一定の値として使用可能であるという面で記載させていただいた次第でございます。
1:13:18	規制庁それでそれは、同じ値を使っていいということを説明していて、
1:13:26	水位テーカーを含んでいるって話は、一段、両括弧1のところでは、どこにどう書いてあるんですか。
1:13:37	関西電力の北野でございます。すいません、両括弧1の中に水位低下した時でも使ってもいいというものを記載。
1:13:44	しておりませんのでそっちはすいません申し訳ございません
1:13:48	資料の作り方の問題だと考えております申し訳ございませんでした。
1:13:53	規制庁鈴木です。衛藤。
1:13:55	両括弧2はなぜ使えるか、推定化した時に使えるかって説明を両括弧にしていると私は思ってたんですけど、
1:14:03	両括弧2は違うまた別の話をしてるってことですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:08	関西電力の平尾でございます。両括弧 2 になりますと、
1:14:12	床両括弧 2 の中ではですね分水の時はどうなるかというもの。
1:14:17	のみ評価しておりますので私が先ほど申し上げさせていただきました冠水状態でも使えるし、部分水位でも使えますというものとはちょっと乖離があるところかなと考えております。なので(1)の中にですね今私が猛省
1:14:31	あげさせていただいたようにですね冠水状態のものもあれば、分水のものも含まれておりますと、なので水位が低下した場合でも一定と値として使わせて使うことが可能です。
1:14:42	(1)の中で凍結論を述べさせていただいた上で、(2)の中では水位低下時に対してはどう考えているのかということの説明させていただきたいと思います
1:14:55	原子力成長するんですやっぱりよくわからなくてですね。
1:14:59	まず、1、両括弧 1 のFPを含まないウランケース数、
1:15:06	この中の部分水の説明を両括弧 2 でしてるのではないと今説明されたんですけどじゃあ何で両括弧 2 を説明する必要があるのか今度逆にわかんなくなってきた、
1:15:21	関西電力の北野でございますとFPを含まないウラン燃料ケースと、この形何とかケースの中は一致しないというものは、に関しまして先ほどご指摘いただきましたようにMOX燃料のケース数の分だけ、
1:15:34	とそごがでございますのでそのようにご説明させていただいた次第でございます。なので
1:15:39	下の方に記載しております分数イデ臨界となったケースに関しましては、表、第 3 表の、
1:15:50	6 分の 5 表の解析ケース数を引いたものがこちらの
1:15:55	四角の中に入る値になっております。
1:15:58	原子力成長スズキSSはそう説明すれば、両括弧 1 の最後の、
1:16:03	くだりは、両括弧 2 で説明していますんなるんじゃないですか。
1:16:06	んならないんですか。
1:16:20	関西電力の福原です。ちょっとご説明したい内容と多分この(1)とか(2)とか小見出しの付け方た、もう少し適切で、
1:16:31	ないのかなというところも、
1:16:33	あるかもしれません。ちょっと全体的にですねご説明しないといけない内容。
1:16:44	絞るっていうか、もう一度ちょっとよく考えましてですね

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:50	ちょっと書き直しします。ちょっと余計な話聞いてもないこと書いてあるということも先ほどご指摘いただきましたので、そこら辺ですな少しポイントを絞って、
1:17:03	まとめた内容になるように、少し改めさせていただきます。
1:17:10	その上で少し議論しておきたいというか確認が必要なポイントを、
1:17:17	もしありましたら
1:17:19	ご指摘いただければ回答させていただきます。はい。
1:17:25	その上でですね
1:17:30	今の
1:17:33	両括弧 1 のFPを含まないウラン燃料の、
1:17:38	ΔkイプシロンCの話と、それから、
1:17:42	その部分水の話ってところが、
1:17:48	直接的には説明では出てこないんですけど、
1:17:55	同じ資料の 14 ページの第 2 図、
1:18:05	の中では、直接的に表されていないですね。
1:18:10	我々結局食う申請書に書いてある。
1:18:13	Δkイプシロン椎野。
1:18:16	説明を求めているので、
1:18:20	そういった説明に合致した。
1:18:27	図なり、そういったものに、
1:18:29	していただかないと、
1:18:31	まずこの第 2 図が何を説明してるんですか。なっちゃうんですね。
1:18:39	別に図で説明する必要はないんですけどことであれば、
1:18:43	そもそも第 2 図要らないですよってことになりますよね。
1:18:50	選定した臨界実験のケース数って、先ほど言った、
1:18:56	両括弧 1 の、
1:18:58	FPを含まないウラン燃料のケースでもないですよ。
1:19:05	スイテイカジの、
1:19:07	TAF付近のベンチマーク数。
1:19:10	これまた違う話ですよ。
1:19:14	FPを含まないっていうのでFPを含むベンチマークは、関係ない話なんで、どうでもいいんですけど、
1:19:21	結局、
1:19:23	ひし形、
1:19:26	ネイビーの塗りつぶし。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:30	これとは関係ないですよね。
1:19:33	今、評価してる△CAPEシェアCは、
1:19:37	はい、関西電力の平尾でございますけど、ご認識の通りこちらの菱形のケースというものは関係関係がございません。
1:19:46	うん。関係ないんだったら、なんでここ載せてるんですかね。
1:19:51	はい関西電力の平野でございます。
1:19:53	同士、
1:19:55	コメントのご趣旨は理解させていただきましたのでこちらの表について、
1:20:00	この表につきましても、
1:20:02	今回のベンチマーク解析、あれですね。
1:20:06	不確定性を算出するあたりのために使用したベンチマーク結果のみを記載することにおきまして、今回のベンチマーク解析というものと不確定性を評価した際の、
1:20:18	衛藤椎葉伊井というものはこの程度でございますといった、見せ方をさせていただきたいと考えております。
1:20:26	現象検証するその辺も含めて、
1:20:29	両括弧 1 両括弧 2 の第一段落目のところまでは、
1:20:33	先ほど言った、
1:20:34	適用妥当性の話をちょっと除いて別立てで不確定な話だけで、包括して書いていただきたいんですけど。
1:20:41	まとめ直していただけるということでよろしいですね。はい。関西電力の日野でございます。衛藤。
1:20:46	コメントのご趣旨理解させていただきましたので、今回の不確定性の話にフォーカスして記載させていただきたいと思い
1:20:54	議長規制庁数、その上で、同じ資料の 1 ページの両括弧 2 の 2 段落目の、
1:21:04	泥酔状態に相当するEALFに対する傾向を確認するため選定したケース数の、
1:21:11	話は、これは何の説明をされているんですかね。
1:21:19	関西電力の平野でございます。こちらに関しましても
1:21:23	スケールの妥当性確認の部分にちょっと、
1:21:27	戻ってしまうんですけども、同スイテイカジにおきますスイテイカジ相当のEALFにおいてもこのスケールコードというものが使えるというものを、を再度説明している内容でございますので、先ほど
1:21:40	意見いただいた内容を踏まえますとこちらの記載等も不要であると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:44	判断しておりますのでこちらの記載も、抹消させていただきたいと考えており、
1:21:50	原子力規制庁スズキです。不要かどうかっていうところで、なぜ不要なのかよくわかんないんですけど、
1:21:56	第4表で、
1:21:59	説明している。
1:22:02	ものなんですよ
1:22:04	ケースっていうのは、
1:22:10	12ページ13ページで、はい。
1:22:16	その低水位の話。
1:22:19	っていうのは、
1:22:21	ちょっとその台本4法がどんな、
1:22:29	臨界実験なのかここに書いてある内容だけでは、
1:22:32	あまりよくわかってなくてですね。
1:22:36	実機に照らし合わせたときに、
1:22:39	どんな状態。
1:22:41	例えば、解析結果でいうと、
1:22:49	16ページの
1:22:51	解析ノミナル解析の結果でいうと、
1:22:56	どの辺の水のことを、
1:23:00	表しているもの。
1:23:02	それはちょっと関係なくなるんで、取りますっていう話なのかちょっと証明がよく、何をしようとしてるのかよくわからないんですけど。
1:23:11	はい。関西電力の平尾でございます。まず1点目とこちらの第4表で示されている臨界実験、今回追加させていただいている委員会実験3、
1:23:21	の係数に関しましては
1:23:24	藤気相部高須でいうと200ミリメートル程度の
1:23:27	における江藤EALFに相当するものなので、200ミリ程度の水位低下時のEALF相当においてもこの今回のSCALEコードっていうものは使えるかどうか。
1:23:39	という妥当性確認のために3、算定したものでございます。
1:23:43	一方でですねこちらですけども(1)で記載しております不確定性、
1:23:48	のベンチマークすには、の内数ではございませんので先ほどの不確定性に特化した説明資料と見直す。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:57	ようにということですのでございましたのでちょっとこちらに関しましては削除してくださいとか、
1:24:03	規制庁スズキです意味がわかりましたけど、
1:24:07	そういうことであるとすると、今の申請書の
1:24:10	開始SCALEコードの適用妥当性の説明は不足してるんじゃないですか。
1:24:16	SCALEコードの適用妥当性の説明書っていうのは、
1:24:20	新規制のときと同じことが書いてあって、
1:24:24	価格に適用妥当性を確認しているケース数も多分変わってなくて、
1:24:31	そこにこれは入ってないですよ。
1:24:34	なので結局、非常に低水位になったときの計算っていうのは、
1:24:40	今の申請書上は適用妥当性があるっていうことは説明しきれてない気がするんですけど。
1:24:46	むしろそれをつけ足さないと、せえ申請者でいうとね。
1:24:55	紙申請書でいうと実際の申請書でいうと、1号機で言うと別紙1-2ですね。
1:25:02	添付資料。
1:25:07	ここの中で、
1:25:12	1-2ページ見れます。
1:25:16	大丈夫ですか。一番下。
1:25:19	妥当性確認のところで、
1:25:22	ここに係数書いてあるじゃないですか。
1:25:31	下から3行目に係数書いてありますよね。
1:25:47	ここの中に第4表の、
1:25:49	ケース入ってないですよ。
1:25:52	はい。その通りです。いや入ってないってことは、
1:25:55	非常に水位が下がったときに、
1:25:58	SCALEコード適用、
1:26:00	できるっていう、解析コードの概略説明には抜けがある気がするんですけど。
1:26:07	むしろそこは今回の申請においてアップデートされてそこまで使えるんだってことを言っておかないと、
1:26:14	SCALEコードを使っていいのっていう話んところが、何か説明できてないような気がしちゃうんですけど。
1:26:21	これは不確定な初めて適用妥当性の話ですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:25	関西電力の福原です。今日だからそこを含めてご説明、
1:26:31	今日のこの資料も、定数維持にもスケールが使えるんだってことを、
1:26:40	今日この資料でご説明。
1:26:42	している。
1:26:44	という理解で規制庁鈴木ですであれば、であればですね。
1:26:49	であればですね、よろしいですか、関西電力よろしいですかで、であれば、
1:26:54	やっぱり不適合妥当性の説明と、不確定性の説明を分けてください。
1:27:00	追加で逆に今聞きますので、今申請書には、
1:27:05	説明しきれてないんじゃないですかってところを、
1:27:08	もし説明しきれてないんであれば、
1:27:11	直していただかないといけないんで、
1:27:17	そのための説明を、要するに新規制時とは違いますと、若干違いますと。
1:27:23	筒井、追加の妥当性確認をした上で、非常に定数のところまで使えるかどうかちゃんと見てますと、
1:27:30	そういう話を、
1:27:32	されてしかるべきかなと今聞いてて思ったんですよ。
1:27:35	これまでそんなこと全然思ってなかったんですけど、
1:27:40	違うんですか。
1:27:43	関西電力の福原です。今回の
1:27:49	水位を下げていく場合で水が非常に少ない、下がった状態。
1:27:55	ていうのが、お金の新規性で、水密度をどんどん1から不足していった状態、
1:28:04	まあまあほぼイコールですよ。ですのであくまでその、
1:28:09	水が違うことによるその使い分けってというのはあくまで今回の
1:28:18	申請での特徴ではあるんですけども、非常に水位が低い状態すなわち、液相部がほとんどない状態を、このコードがちゃんと使えるんですかっていう部分は、
1:28:31	新規制のときの、水密度が非常に薄い状態で使えますよという説明等は、私は同等かなと思っていますけども、ご理解、
1:28:41	一応スギタのソウダ粒じゃ第4表の計数を選んできて、
1:28:47	第4表に対するシバEの評価結果を載せている理由は何なんですか。
1:28:55	許可のときの説明としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:58	低水位の時の
1:29:01	適用性について、
1:29:04	或いは不確定性について、そう説明し、されてたつもりだったんですけど、
1:29:14	ちなみにそれについては、
1:29:18	規制委員会で公表している審査結果の審査の経緯のところに、
1:29:23	しっかり書いたつもりだったんですけど、
1:29:26	違う話だったってことですか。
1:29:34	いや全く関係ないって言われるのであれば、ちょっと許可のときと話変わってるんでしっかり審査会合の場でそこは説明していただいた方がいいんですけど。
1:29:45	すいませんちょっと鈴木さんの、
1:29:49	懸念のところを正確にちょっともう一度言っていた方がいいですか。まず、第4表の、
1:29:57	ケースは、
1:29:59	非常に部分水の、
1:30:01	水位が下がった。
1:30:03	所。
1:30:04	の、
1:30:07	状態を表しているので、
1:30:10	2-2の16ページで言うと、
1:30:15	水をずっと下げていって、実効増倍率が、
1:30:18	0.9を下回ってきて、さらに下がっていくような、
1:30:22	この辺のところの、
1:30:24	状態を、と似たような、
1:30:27	実験条件。
1:30:29	のものを説明していますと先ほど、
1:30:32	関西電力から説明がありましたよね。それはそれは正しいですか。
1:30:37	はい。関西電力の飛田でございます。概ね正しくてスイテキカジの中性子EALF相当の実験を算出したものです。
1:30:47	はい。
1:30:48	規制庁都築です。だから、
1:30:50	先ほどの1016ページの次がずっと下がった時の冷風相当。
1:30:56	のやつを説明しているので、
1:30:59	それはその説明を、適用性を説明しようとしてるんじゃないんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:31:06	すいませんちょっと順番に行きますと、第4表のベンチマークがちょっと数字が読めないんですけどもEALF、下から4行目のところに、
1:31:21	幾らから幾らって出てきますよね。この数字が、比較的大きな数字になってますけども、それが他奈良の
1:31:36	例えばこの14ページの
1:31:40	表でいきますと、さっきご覧いただいた比較的大きな数字のEALFが、このグラフで読み返していくと大体、
1:31:50	増井が幾らぐらいに相当するものかというの、関連づけられると思うんですけども、
1:31:58	そこの部分の検証といいますか、傍証としてこれを使っているという
1:32:04	ことでございます。
1:32:10	原子炉規制庁鈴木です。
1:32:13	つまり、実機と同じような条件になるような物理パラメータ視察して同じような、
1:32:21	条件になるようなところについて、
1:32:24	ベンチマークケースを選定し、してきたのが第4表だっているふうに聞こえたんですけど一方で先ほど、従来のね、
1:32:35	妥当性確認をした。
1:32:38	ベンチマークの中に、坂水だけど、
1:32:42	減速材の密度が非常に低いような状態それが今回でいうと、かなり水位が下がった時と同じような、
1:32:50	ところでしょ。それも結局AAF見れば、同じようなふうのところを見てるっていう話等になるんですかね。
1:33:00	AAEALFで説明をしようとするんだしたら、今回のその第4表って非常にわかりやすい気がしたんですけど。
1:33:11	もともとそう、そうじゃない水が落ちていく、非常に低いところじゃなくて、満水に近いような状態で、仮想的に、
1:33:20	減速材密度非常に低いような物質を作ってつくって、
1:33:24	その状態でやった状態もEALF上がりますよね。
1:33:29	ADFっていうパラメーターで見たときに、
1:33:32	次、臨界実験のケースは違うけど、
1:33:36	似たようなところでもうすでに見てます。今回、新たなケース数追加しても同じようなところを見てますっていう。
1:33:43	二つの話をしなくてもいいのであれば第4表はそもそも、
1:33:48	関係ないって話。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:49	なるので、
1:33:51	許可の時にそういう節、第4報に関する説明しっかりされて我々、審査結果としてもそう見たっていうふうに言ってるので、そこは違うって言うんだったら、
1:34:02	改めていただく必要があると思うんですけど。
1:35:02	はい。関西電力の福原です。ちょっと改めて確認させていただきたいと思いますが、事業本部、何かいけますか。
1:35:17	関西電力事業本部の富樫です。
1:35:22	を、
1:35:29	そうですね。
1:35:34	14ページの中の人数的の中で、
1:35:41	ちょっと件数は
1:35:45	形成力賛成したもの以外も、
1:35:48	今、含まれているというお話ありましたけども、
1:35:51	中で水位が低下したケースも含めて、
1:35:58	適用性といいますかは、もう網羅的にといいますか今回の時期を網羅的に、
1:36:07	ベンチマーク。
1:36:10	江藤実験のケースとしてはもらってますよということを、
1:36:15	説明して行って、それに加えて、この
1:36:21	A系監視、
1:36:23	のベンチマークについても改めて確認したところ、やはり
1:36:30	同じ傾向を示しているの
1:36:34	適用性があるという判断をしていると。
1:36:37	いうところ。
1:36:38	を意識していますけれども、
1:36:44	すいません。以上ですけれども、原子力規制庁スズキですちょっと、
1:36:49	大分わからなくなってきたので、
1:36:51	まず、追加で、
1:36:55	適用妥当性の
1:36:58	今申請書に載ってる別紙1の内容がそのまま今回の申請に、
1:37:06	使えるのかどうか含めて、
1:37:09	まずそこをはっきりさしてください。
1:37:12	で、
1:37:13	それはそれでまとめていただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:16	不確定性は不確定性として別立てでまとめてください。ちょっと両方入っていると。
1:37:23	どの部分が適用妥当性の説明でどの部分が負荷制限姿勢の説明なのかちょっとよくわかんなくなっちゃうので、
1:37:30	別立てにしてください。ゆこれ、1度資料作っていただいてもう一度我々確認したいと思います。
1:37:40	お願いします。
1:37:42	はい。関西電力の福原です。了解いたしました。別紙1が今申請しているもののままでいいのかどうか。溜めて学校です。いい場合も、こうこうこうでいいんですよっていう説明を1個されるということですよ。了解いたしました。
1:38:04	部分水位含めて、ここまでのところで何か追加できて、
1:38:14	既設ヤマモトの確認だけなんですけども、
1:38:18	主要な時にですね一番、一番畑最後の、
1:38:22	表現なんですけど、ページ数でいうと3ページのなお以下の文章。
1:38:28	最後のところに、
1:38:29	0.02と仮定した場合でも、いかなる推移においても、って書いてあるんですけど、いかなる推移というのは、具体的に、
1:38:38	どの辺まで支えてるのかちょっとわかんなかったんです、具体的に言いますとですね。
1:38:45	先ほどご説明があった、
1:38:49	14ページの図1、第11位ですねこれ0まで引くとEALFが大体100近くまで上がるんですが、
1:38:58	ちょっと第2図と言えませんが多分そこまでカバーされてないですよと。
1:39:04	それからもう一つ、掛かん関連性なんですけど、
1:39:07	例えば第3表の一番右の方にですね、燃料設備市長溶接部及び燃料使用のパラメータ範囲の一番、
1:39:17	下から4行目に、
1:39:19	EALFの範囲として約7エレクト何ボルトと、
1:39:23	これとの関連ですね。だから要は、
1:39:26	いかなる推移と書かれてるんだけどいかなるっていうのは一体幾らなんですかねなんて、それがはっきりしてないがために、十分か不十分かないかはちょっと議論が、
1:39:36	続けてない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:37	私自身は、もともとそういう低いところの数値使われてないですよ。
1:39:43	だからスケール行動そのものの性能評価必要だったら必要かもしれないけど、
1:39:48	結局今やってる計算結果の保守性を担保するだけだったら、
1:39:52	先ほどありましたようにMOXもねただウラン燃料の、
1:39:56	戦線ミギタ減衰とその辺のまでが全部用水見れるのがわかれば、それ19年マエダって気がしてて、
1:40:04	かなり踏み込み過ぎていただけ私は気がしたんですけど。
1:40:12	関西電力の福原です。今日の資料上ですね少し表現が曖昧になっている、論文横切として少し、
1:40:22	もう少しスペシフィックに数値具体的に情報特定した書きぶりにちょっと先ほどもうそもそも、ちょっと構成から書き直すというところもありますのでそこも含めてここは配慮して直させていただきますと。
1:40:37	いうのはまず申し上げた上でですね、
1:40:41	ちょっと今、今の山田さんのお話しい内で少しちょっとわからなくなったのが、いや1000mmまででいいやんっていうお話等、いやこれ水位今回やっぱり、
1:40:52	3600から0まで全部見てるのでっていう話等、
1:40:57	のご説明をしないとイケないっていう中でちょっと私もちょっとまた混乱しちゃってるんですけども、
1:41:07	どう。すいません。
1:41:11	ちょっとクワタCの田野の意見ですけども、結局、何かある数値を出したときに、その不確かさ幅を幾らで使うのを評価しないとイケない。
1:41:22	ところが
1:41:24	先ほど言われたように1000mmよりも下の下がったところについては一切、
1:41:29	判断評価になってないですよ。結局低いんで十分下がるからいうんで、
1:41:34	1000mm付近のところの誤差評価をされて、
1:41:39	それでも0.98を下回らないということで、OK。
1:41:44	私たちは本当にそうかっていうのはその1000mmの点で、ちゃんと誤差が、
1:41:50	全部サノセ評価されてるかっていうのを見ればよくて、それ以下の部分について、
1:41:56	スケールが計算できないかという話は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:00	いらなきゃいけない私は何か必要なのかなと。
1:42:05	例えばゼロから駅までっていう場合もありましたけど、それは00が上に上がる場合もある。
1:42:13	だったら、当然道路と1両方押さなきゃいけないけど、
1:42:16	今の場合は、線で靴下がっちゃって1000円か。
1:42:20	なくていいって話もしなれば、
1:42:22	線だけ見ればよくてという気がする。
1:42:27	規制庁スズキアビル見ないっていう話は、
1:42:31	ノミナル解析として見る見ないっていう話と、不確定性評価として見る見ないっていう話と多分違うと思うので、まずやってることを書いてください。
1:42:41	やってるよノミナル解析は0から増井までやってるので、
1:42:47	それについては関西電力としては、そこそこにSCALEコードを使うことには、
1:42:51	問題ないと思っているわけですから、
1:42:55	そこはしっかり説明をまずしていただいて、
1:42:58	不確定性の話はさっき、
1:43:01	それから1000mmぐらいまでのところ、
1:43:04	までは、ばらつき程度。
1:43:06	だと。
1:43:08	そこから下は変わってくるでしょうけどねっていうところは、定性的に説明されるってことであれば別に、
1:43:16	ベンチマークの話を持ち出すことでもない。
1:43:19	話ですし、
1:43:21	ちょっとその辺は、
1:43:24	計算コード等の不確定性っていうところと交差の話、両方、
1:43:30	別々で見なきゃいけないので、
1:43:32	計算コードの不確定性な話も1000mmより下、
1:43:37	-1000mmより下のところは、見る必要はないんですけどっていうのであれば、
1:43:42	議論の必要もないのかなっていう気もするし、
1:43:46	必要ないと私が言ってるわけじゃないですよ、関西電力として必要ないと思うのであれば、
1:43:52	そこで不確定性のところで、マイナス1000mmより下のところの計算コードの不確定性の話まで踏み込む必要は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:01	ないってことっていうことを説明できるのであれば別にそれ、それでいいんじゃないですかっていう
1:44:06	だけなんですけど。
1:44:09	――ミナミのみであればやるって言うてるので、
1:44:12	野村については適用妥当性の説明は、
1:44:17	ほぼロスしたところから、慢心ところまでつけることで計算できるってことは、説明されるのはいいですよ。
1:44:29	ごめんなさいちょっと。関西電力の福原です。すみません確認させてください。
1:44:36	ノミナル、ノミナルの値を出すための計算。
1:44:41	において、SCALEコードを、水位 0 のところまで使えるんだということについては、規制庁さんとしても、もう疑いを持っていないということでもいいですか。
1:44:54	規制庁数ですこれまで疑い持ってなかったんですけど、
1:44:57	先ほど、表、第 4 表の話を加えないと説明できないっていうことになるのであれば、今説明が足りてないので、
1:45:08	ちゃんと説明していただかないとわからないですっていう話ですのでそこは、
1:45:12	どっちなのか知らないけど、ちゃんと説明してくださいと。
1:45:16	それは適用妥当性の話ですね。
1:45:19	そこはよろしいですか。
1:45:22	はい。はい。
1:45:23	で、不確定性の話は、
1:45:27	製造公差の話と、それから計算コードの不確定性の話と二つありまして話が、
1:45:34	で、
1:45:35	最終的な判定は、
1:45:37	計算コードと製造公差の不確定補正を、
1:45:45	両方考慮した上で、
1:45:48	行くシノごめんなさい。
1:45:54	具体的な手法。
1:45:58	最後に見るのは、
1:46:01	イプシロンですね。はい。イプシロンを評価してくると。
1:46:05	ここの話ってというのは、先ほどの説明だと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:11	当マンションから－1000mmぐらいまで見ておけばいいんですよっていう話だったので、
1:46:18	そうそう、計算コードの不確定性の話もマイナス 1000mmぐらいまでの、
1:46:23	説明がなさ。
1:46:25	なされれば、
1:46:26	説明し切れるっていうのであれば、そこまでいいんじゃないですかって話です。
1:46:31	関西電力のフクハラですいませんちょっと細かいマイナス 1000mmではなくて水位が 1000mmミネマツウヤセンミョウ。はい。
1:46:39	ですねご説明が足りなくて申し訳ないです。16 今日お配りしている資料 2-2 の 16 ページをご覧いただきたいんですけども、ここにデジタル値を書き込んであるところが今回
1:46:53	追加で計算した点になってまして、ALPHAshallでは、生値括弧なしで書いてあるのが、不確定性を含まない値で、括弧をつけてるのが複雑訂正を含む値です。
1:47:07	もともとこの満水のところしか不確定性形成し、計算してなかったの、書いてなかったんですけども、本日計算してきた結果、青含めてこの括弧、0.943 不確定性見てもこの水洗実のところ、
1:47:21	この程度ですよと、こういうのをお示しているものでございます。
1:47:25	規制庁それですみません、間違えましたスイセンミリのあたりまでは、満水から水 1000mmぐらいまでは、
1:47:33	深くて、
1:47:34	計算計算行動。
1:47:38	等の不確定性は、
1:47:41	変わらないはずで、
1:47:43	関西電力の主張ですよ、変わらないはずで、製造公差の話もばらつき程度の範囲内で、
1:47:49	同程度であるはずだと。
1:47:52	そういう説明だったわけですよ。で、
1:47:55	そうするとじゃ計算コードの不確定性の話として、第 4 表を持ち出す。
1:48:01	必要性っていうのは、特段ないんですよ。
1:48:05	ある、あるんですかね。
1:48:08	その話はもう他言ったってことです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:13	関西電力の福原です今福神保お話いただいた方もそれをストーリーというのであればその説明の範囲であれば、第4表というのはいらなくなってきました。はい。
1:48:26	まずは関西電力の理解、或いは市長として、先ほど言ったように、適用妥当性の資料と、
1:48:33	不確定性の資料、これちょっと別立てて、もう一度まとめ直していただいて、
1:48:39	我々も今までこれまで言ったような観点で確認をさしてもらいたいと思います。
1:48:46	はい。了解いたしました。
1:48:51	じゃ部分水のところまで規制庁がほかによろしければ、
1:48:57	資料3のナンバー9演奏のところ、
1:49:03	の説明をお願いします。
1:50:31	関西電力事業本部富樫です。マイクがもし入ってないようでしたら再説明はいいのでこれからマイク入れていただけますでしょうか。
1:50:39	すいません関西電力の平尾でございます。
1:50:42	藤。
1:50:43	一方でですね塩素に起因する計算コードの誤差
1:50:47	は100pcm程度であると、引用している文献には記載されておりまして、こちら100pcmであるということが伸びたのではなくてですね実効増倍率換算で0.001オーダーの
1:51:00	極めて小さな値であるということが評価されておりますので、今回の椎葉伊井の傾向1.01程度と。
1:51:07	高い傾向にあるといった保守的な部分に関し、の中でその不確定性というのは含まれており新たにその不確定性というものを、あと、
1:51:18	計算し、計算結果等により
1:51:22	今回の評価に含める必要はないと。
1:51:24	いうふうに考えております。
1:51:26	以上でございます。
1:51:30	原子力規制庁スズキです。まずう。
1:51:34	資料2-2の2ページ目両括弧3の、
1:51:40	1段落目の初めの三行についてはこれはもう審査会合の場で、
1:51:46	このケースにおいて、そのケースの平均的なものとしては、
1:51:53	解析の方が高めに出ているのだろうけれども、
1:51:58	それが本当に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:52:05	期待されるような、
1:52:07	ところの結果になっているのかっていうところはよくわからないので、
1:52:14	この
1:52:17	ばらつきが何かしら正規分布みたいな。
1:52:22	統計的に意味のある文法を持つ。
1:52:25	ということが説明できないのであれば、
1:52:29	たまたまとしか読めないんじゃないですかってことはヤマモトから審査会合の場で、
1:52:35	ご指摘してまして、
1:52:38	それについては、
1:52:41	どう考えられているってところが、この資料にはどこにも載ってないので、
1:52:47	我々の指摘には答えていないのかなっていう。
1:52:52	んですけれども、
1:52:53	まずそこはどう考えられているんですか。
1:52:57	この選んできた。
1:52:59	ケース数で、
1:53:04	塩素の影響というの、
1:53:09	ばらつきなのか分布なのかわかんないですけど、
1:53:12	その傾向、
1:53:14	というのが、
1:53:15	何かしら、
1:53:17	中央値みたいなものが、
1:53:19	期待値にかなり近いような中央値みたいなのが、
1:53:22	あるという説明なんでしょうか。
1:53:30	関西電力の平尾でございます。
1:53:32	またあと事業本部の方から私の認識に誤りがあればと。
1:53:38	また、訂正させて、していただきたいんですけども、まず塩素を含む体系の臨界実験、
1:53:46	なんですけども、これ自体がですね、まず現在臨界実験ほとんどされていないようなものでございまして、我々が見つけてきて、
1:53:56	さらに塩素に対する今日傾向評価しているような臨界実験であるものっていうものはこれだけしかなかった。
1:54:02	いうように評価しております。一方でですねこの3件に対してであれば、はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:10	申し訳ございません。一方でこのケースに対して等、
1:54:16	信頼正規分布であるかどうかというものに関しては
1:54:25	評価ができ、
1:54:27	出ませんので、
1:54:30	ちょっとすみません当事業本部の方からも補足していただければと思うんですけども。
1:54:36	うーん。
1:54:38	規制庁鈴木ですそこに答えていただく前に、
1:54:41	もう一つ、
1:54:43	含めて答えていただきたいので言っておきますと、
1:54:48	2 ページの両括弧 3 の 1 段落目で、選定してきた。
1:54:54	映像を含む体系のケース数の話と、
1:54:58	2 段落目の一方でと言ってるRLの、理解ベンチマークに関する文献の中で言っている。
1:55:09	バイアスと言っているのかな。とりあえず 100pcm、
1:55:14	計算の方が高めに評価されるんですよと言っている。
1:55:18	これは何か関連があるんですか。
1:55:21	そこも含めてちょっと答えていただきたいんですけど。
1:55:26	関西電力の平尾でございます。
1:55:27	こちらの臨界ベンチマーク解析に関する文献の中で、我々が 3、
1:55:33	使用しております臨界ベンチマーク結果というものも含まれております。
1:55:38	ただしこちらの論文の結論といたしましては
1:55:42	冒頭申し上げました通り臨界実験が少ないので、
1:55:46	あえて解析に、解析によってそのによる計算コードっていうのはどのぐらいであるかというものを、
1:55:55	示してみようというような内容をしてしておりますのがこちらの臨界実験ベンチマークの違いの文献の内容でありまして結論でございます。その中の結論といたしまして塩素に起因する計算コードというものはPCF程度高くなる。
1:56:10	いうなものになっておりますので今回の評価で、100pcmというものを直接使うわけではないんですけども、極めて小さい値であるというようなものに対する補足として、引用させている次第でございます。
1:56:28	原子力規制庁数です。だから、一段落目で選んできたケース数を含めて、2 段落目の、
1:56:36	文献の趣旨を踏まえればということ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:42	とを聞きましたけれども、
1:56:50	結局、だから、
1:56:53	塩素を含む、
1:56:56	体系についての不確定性をどう扱うべきかというところが、
1:57:02	結論が書いてなくて、なお書きでは一応バイアスとして加えてみま すって書いてあるんで、バイアスとして加えようとしてるんですか。
1:57:13	関西電力の平野でございます。バイアスで加えようとしているものでは なくて、年椎葉伊井の傾向から、その保守性に、によって包括されてい ると。
1:57:25	というような結論としておりますけども、
1:57:27	エーッとしております。
1:57:30	現状規制庁数別また何か保守性って話が出てきたんで、
1:57:34	何が保守性なのかちょっとよくわかんないんですけど。
1:57:36	結局どう、どうしたいんですか、この円損の不確定性っていうのは、
1:57:41	同じ資料でいうと、
1:57:49	14 ページの
1:57:51	第 2 図、
1:57:53	ここに、
1:57:56	と、オレンジ色の丸塗りマル。
1:58:01	プロットしてますけど、
1:58:04	これをどうしたいって言ってるんですか。
1:58:08	不確定性の評価として、
1:58:12	関西電力の久野と不確定性の評価としては、
1:58:16	今回の計算コード算出の不確定性を評価するに当たりまして、このオレ ンジのプロットのベンチマーク結果というものは、ちょっと使用しておりま せん。
1:58:27	あと一方で、演奏を含む体系というものに対してはええと、
1:58:31	計算値の解析値の方が実験値よりも高く出るというような傾向をもっ て、あと本評価は妥当であるといった結論をつけており、いるものでござ います。
1:58:41	成長そうですねあの評価が妥当っていう話は、ノミナル値の話をされて るんだと思うんですけど。
1:58:48	そこはちょっと置いといて、
1:58:51	不確定性としてはどう、どうし、要するに含んでないってことは、コミット する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:56	わけですよ。
1:58:57	コミットする理由は何なんですか。
1:59:00	先ほど、審査会合の場でヤマモトが指摘したって言いましたけど、
1:59:06	そもそもその選んできたケース数の、
1:59:12	ケース数が持つばらつきなのか。
1:59:16	不確かさなのかよくわかんないんですけど。
1:59:18	その意味が特定されていないのに、
1:59:22	オミットする理由もないような気がするんですけど。
1:59:28	逆に言うと、
1:59:30	コミットする理由もないんですよ。
1:59:33	単に何か選んできたやつ入れましたってそれ何の意味があるのって話になるので、
1:59:39	コミットするにしてもオミットするにしても、
1:59:42	何かやっぱ理由があるわけですよ。母集団として何を扱うべきかっていう議論なの。
1:59:51	その理由がなくなると結局コミットしますっていうところは、やっぱ我々理解できないんですよ。
1:59:59	はい。関西電力の平でございますと、今のオミットする理由は何かということに関しましてどうぞ。
2:00:06	ご説明させていただきます。
2:00:08	衛藤同様の、2 ページ目の(3)の 3 行目でございますね。
2:00:13	我々等、このへ塩素を含むベンチマークの結果っていうものが、江藤真帆本評価の他の不確定性評価に使用しているもの。
2:00:23	他のベンチマーク結果に対してと、
2:00:25	母集団が同様であるか、異なるかという思った統計的な検定を実施しております。その結果といたしましては、母集団が異なるといった結果が示されたことから、今回の家不確定性の評価に、
2:00:38	の中にはここ、
2:00:40	塩素を含む体系のベンチマークというものは使用しておりません。
2:00:44	一方です。今回こちらに記載しております
2:00:49	統計検定というものに関しましては先ほど私、コメントNo.の
2:00:56	もう、
2:00:58	8 ですかね 8 の中で議論させていただきました。ベンチマークにしよう。違うなど不確定性を算出している。
2:01:07	とベンチマークケース数と異なりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:10	再度こちら資料、お手元の方で計算をさせていただきましてこちらに関しても、
2:01:16	募集が異なるといった結果が出ておりますのでこちらを含めまして資料のほうは修正させていただきたいと考えています。
2:01:28	規制庁。
2:01:30	規制庁鈴木です先ほどの検定の話は 15 ページの話だ。
2:01:36	と思うんですけど、
2:01:44	分散に差があるという
2:01:46	結論と平均に差がある。
2:01:51	塩素を入れたときには、異なる不確定性になるんですね。
2:01:56	という結論だと思うんですけど。
2:01:59	その確定性はどう扱う。
2:02:02	それは見なくていいっていうのはちょっとよくわかんない
2:02:05	んですけど。
2:02:07	はい。関西電力もそれでね、
2:02:11	先ほどのね、
2:02:12	最終的な判定の、
2:02:16	考え方からすると、
2:02:20	満水時はそもそもこの層厚が入らないですよ、解析上。
2:02:25	液相は全部純水でやってるので上から幾ら塩素が振ってくれれば、混ざらない、純水のままだと言っているんで、
2:02:34	水が落ちてきたところで、
2:02:36	塩素の効果が入ってくるんですよ。
2:02:40	で、その入ってきた効果に対して、不確定性を評価して判定するわけですよ。
2:02:47	いや、
2:02:49	これまでの説明からするとそういうふうにするんだろうと思うんですけど。
2:02:53	そんな時に、
2:02:55	冠水してるときに、塩素の子入ってないときの不確定性より、
2:03:02	若干上が露出して、
2:03:04	要するに水が 1000mmぐらいまで落ちてきたところで、
2:03:08	木曽側に塩素が入り込んだ、
2:03:11	木曽側の水分伝送入り込んだ
2:03:13	理由。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:15	そのところの不確定性が広がったら、
2:03:18	また結局判定崩れないんですかって話になっちゃう。
2:03:23	結局、塩素を考慮したときの、
2:03:27	不確定性を評価しない限り、
2:03:30	先ほど言った判定の考え方はそのまま使えないんじゃないですか。
2:03:36	はい。関西電力の平野でございます。
2:03:40	計算コードの不確定性に関しましては、どの委員会ベンチマーク結果を用いて、計算コードの不確定性を算出するかといった手法に基づきまして計算しておりますので、
2:03:54	まず、ベンチマーク、どのベンチマークセットを採用するか。
2:03:58	といった部分が決まって、
2:03:59	言ってしまうえば、水位が変化したとしても、一定であると。
2:04:03	一方で水位がへ、冠水時の時の解析結果と、水位が低下したときの解析結果っていうのは、
2:04:11	ある程度の不確定性が口座あるではないかと。
2:04:14	塩素が入ってくる影響っていうのがございますよねといったものに関しましては、実際の実効増倍率の中、
2:04:21	の話でございますので製造公差フェストの誤差を算出する際に網羅されているものと、
2:04:27	いうふうに認識して、
2:04:36	何で製造公差の話が規制庁スズキ何で製造コストの話が出てきたか今ちょっと理解できなくてもう1回いいってことで、申し訳ございません。製造公差の中に含まれるというよりは
2:04:46	実際の実効増倍率の中に含まれているものでございまして、
2:04:51	実際の実行増倍率の中に含まれているものでございます。
2:04:57	今の話はノミナル値の中に、
2:04:59	含まれているってことを言われたのであれば、含まれているからこそ、
2:05:04	その不確定性をしっかり見る必要があるんじゃないですか。
2:05:19	関西電力の平尾でございます衛藤。
2:05:23	どこ。
2:05:24	ご意見のご趣旨といたしましては、江藤計算コードの不確定性を算出する際に、ベンチマーク結果も含めて算出した方が妥当ではないかといったように、
2:05:36	受け取れるのですけれども、そういった内容や、規制庁鈴木です。
2:05:44	その効果を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:46	適切に取り込んで不確定性を評価していただく必要があると思いますけど、
2:05:52	現状関西電力が選んできているケース数のものだけを、
2:05:58	取り込んで単純に数学的に取り込む。
2:06:02	意味はないと思ってるんですよ。
2:06:04	なぜならそれは審査会合のときに、山元が言ったように、
2:06:08	この関西電力を選んできたケース数そのものが全体の傾向を示すような、
2:06:15	中央値のものを持ってきてるかどうかもわからないし、分散のものを持ってきてるかもわからないので、
2:06:22	そのまんま
2:06:24	コミットされても困りますよって言ったのが先ほど言った話なんですよ。
2:06:28	困りますよっていうのは理由が立ってないですよって言うてるんですよ。
2:06:31	まず我々が審査会合で聞いたことを、
2:06:35	しっかり説明をしていただかないと、そのあとどう扱いたいいっていうところ 幾ら主張されても、
2:06:42	説明にならないので、
2:06:44	そこを理解していただきたい。一方で、一方で、これは審査会合の場でも 言ったんですけど、
2:06:51	関西電力が参照してる文献のコンクリートン、
2:06:55	のところで、
2:06:57	やっぱり平均 5 歳 9595。
2:07:00	の評価をするにあたっては、
2:07:04	まだできないんだっていう説明があるんですよ。
2:07:08	文献書いてる人がチームがそう言ってて、
2:07:12	多分関西電力も入手してると思いますけど、この翌年に、
2:07:19	新たな実験計画追加実験計画まで立てて、
2:07:22	それをやろうとしているんですよ。
2:07:25	で、
2:07:26	それは我々今手元持ってないんですけど、
2:07:32	カーパークそれん入手してますかしてないんだったら、後でお伝えします けど、
2:07:39	我々としては、
2:07:42	翌年 2016 年の同じチームが出してる追加実験計画の、
2:07:48	話の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:49	結果だとか、
2:07:51	評価だとか、
2:07:53	或いは結論だとかっていうのはまだ公表されてないと思っていて、
2:07:58	であるとする、
2:08:00	関西電力がやろうとしてることは、まだ次。
2:08:03	その研究レベル。
2:08:05	の段階でかつ世界的な経緯の期間というわけが出るorエネルギー。
2:08:10	その人たちですらまだ結論を出してないものを、何か拙速して結論として使っちゃダメみたい、
2:08:17	言ってるように聞こえるので、
2:08:20	もう本当にそんなことやるんですかね。
2:08:23	という話を、
2:08:25	審査会合の場で言ったつもりなんです。
2:08:32	で、その時の
2:08:35	ジャストアイデアというふうに私言ったと思いますけど、
2:08:38	どうせ演奏きかないんだったら、
2:08:41	ノミナル解析にね、演奏きかないんだったら、
2:08:45	条件から外しちゃったらどうですか。そしたら不確定性評価なんかしないでいいんですよ。
2:08:53	というやり方もあるけど、その辺含めて、
2:08:57	もう一度考えてきてくださいねって最後ちょっと言ったつもりなんですけど。
2:09:10	はい。関西電力の福原です。鈴木さんの会合のご発言のイトウそこをRLそこまでの意図だということ、庄司すみません私は少なくともちょっと理解できてなかった。
2:09:25	たので、改めて、そこも含めてちょっとこの演奏に関する部分の説明っていうのは、当社としてどうするのかっていうのは判断したいと思います。
2:09:36	その一方でもうその辺あれだしたらもう演奏外したらっていう話につきましてはですね、そこにちょっと私直感的にちょっと思ったのがやはりその今日許可との整合、
2:09:49	というときに、果たしてここに詳細設計なのでっていうことであれば
2:09:57	のかもしれないんですけども、設置許可にちょっとその話が出てますんでそこら辺がちょっと気になるというのがちょっと第一課でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:10:06	許可のとの整合として、本文との整合にかかる話ではないと私は思っていて、
2:10:14	そうですね。テンパチしか出てこないですね。
2:10:18	テンパチの評価方針って今回、申請書にどう取り込むかって言ってるところで出てくる話で、そこは当然、
2:10:26	テンパチに書いたことだけど、ちょっと変えようと思ってます。
2:10:31	ていうことであればその説明をしっかりと欲しいんですよ。
2:10:34	で、取水するときに、評価としてね。
2:10:39	中性子吸収効果を考慮しない側の、
2:10:44	話。
2:10:45	にしますと、
2:10:47	いうことであれば、別におかしくはない。
2:10:51	と思うんですね。それで思って、いや、
2:10:54	許可によらないから駄目だって。
2:10:56	いう人が、
2:10:57	出るかどうかですけど私はそんなことはない。
2:11:01	結局許可によるかどうかってのは関西電力もいつも言いますが、本文に、
2:11:07	抵触しないかどうかだけですって言われますよね関西電力だってね、我々と思ってんですよ。
2:11:13	あの、設置変更許可申請書のテンパチって確かに審査する上で、実現可能性を見る上で、具体どうするんだろうな、今後の。
2:11:23	後続手続きでどうするようなつもりなんだろうなってことを見る上で、ある程度やっぱり書いてもらって、
2:11:31	全く違うことをね後続申請出されるとおかしいですけど、一部ちょっとやっぱり、実際は設計してみたら、
2:11:38	或いは評価してみたら、
2:11:40	少しこの辺は考え直そうかなって思ってますけど、許可によるものであることは変わらないんですよって説明がしっかりできるのであれば、
2:11:49	そう説明されるのも手じゃないのかなということで前回の審査会合の最後の方でちらっと
2:11:55	アイディアですけどね、私見ですけどねって言い方して申し上げたつもりだった。
2:12:03	ちょっと今お答えいただかなくて結構ですので、同数、どういうふうの説明されるのか現状においては我々ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:12	納得できてないので、
2:12:13	審査会合の指摘に直接まず答えていただく。
2:12:19	上でどうされようとしているのか。
2:12:22	ていうところを、
2:12:23	全体の流れをしっかりと説明を、
2:12:26	していただきたいと。
2:12:28	いうところですよ。
2:12:30	よろしいでしょうか。
2:12:35	はい。了解いたしました関西電力の福原です。審査会合での指摘事項をもう一度復唱しますけども、塩素を含む体系の
2:12:46	ベンチマーク結果の、本評価における扱いについて説明することと、文字ではこう書いております。その心はと。
2:12:58	言いますと、
2:13:01	だからですね不確定性。
2:13:06	をどう見るのかというところがすごく規制庁さんとして関心があるということなんです変数を取り込んで計算する以上、じゃあその映像の不確定性ってどう見るんですかって。
2:13:19	いうところが一番の関心事だということですね。はい、了解いたしました。
2:13:29	関西電力の富樫でございます。江藤。ちょっと確認だけになるんですけども、今の資料 2-2 の(3)の記載のところをちょっと議論させていただいてますけれども、
2:13:42	塩素を含む体系の弁企画結果としてはシバEとしては、高い傾向にあるっていう、計算の方が高めに出るっていうところをもって、
2:13:53	ここの宮の方に塩素の効果ってのが含まれるという前提で、これは問題ないと評価しているというふうな説明をさせていただいてたところだと思うんですけども。
2:14:05	やはりこの点が、
2:14:09	先ほどの繰り返しになりますけども、統計的にというか、いいですか、そういったところが2、
2:14:17	疑問があると、というようなご指摘というところの理解でよろしかったですでしょうか。
2:14:24	月初規制庁スズキその通りで、これが主。
2:14:28	2 段落目の文選んできた文献の内数であると先ほど説明されましたので、その文献によれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:36	そもそも、
2:14:37	9595 の評価に至るような、
2:14:41	状態にはないというふうに、コンクリーションで言っているので、じゃあ使えないんだねと。
2:14:47	不確定性評価には使えないんだよねっていう、我々はそう思ってしまっただっていうところで、そこを払拭できるんだったら説明していただく必要があるし、
2:14:56	いや、説明できないのであれば、やっぱこれは評価できないものは、
2:15:01	申請に取り込めないってやっぱなるんじゃないかなっていうところで、試験というか、アドバイスというか、
2:15:10	アイデアというかってところ言わせていただいたっていうところですよ。
2:15:15	代理人を飛ばしてございます。我々として今回このように記載させていただきましてけどおっしゃる通り実験自体委員会実験自体が論文に記載されております通りその数は、
2:15:28	少ないっていうところではございますけれども、その限られた中でも、比較的影響の大きい実験というのを選んできて、ベンチマーク解析っていうのを実施しております、
2:15:40	それによってもそれによる、この反応度効果っていうところに、特異な傾向がないことを確認しておりますので、そういった特異な傾向がないということを確認する観点では、
2:15:51	問題ないのかなというふうに評価していたというところではございました。
2:15:55	原子力規制庁そうですそこまで話を進めて、
2:16:01	議論したいということであれば、あえて、そういうことであればってことですけど言っときますけど、その場合我々次の質問は、
2:16:11	部分水の話と同じで、
2:16:13	実機への適用性実験体系たい。
2:16:18	試験条件ってのが、
2:16:20	実機条件と、
2:16:23	同じような、
2:16:24	範囲でやられているんですか。
2:16:28	という話まで含めて、
2:16:30	議論することになると思いますけど、私の認識ではここで言っている塩素を含む体系っていうのは、
2:16:39	貯蔵設備中間貯蔵とかどのぐらいちょうどかわかりませんが、そういったものに中性子吸収材が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:48	入っている。
2:16:49	容器があって、そこに湧水とか、
2:16:53	の浸水があったときに、
2:16:55	中性子吸収材が冷夏したりだとか、吸収効果がなくなるような状態であ ったとしても湧水中に塩素が含まれて、
2:17:03	いれば、その吸収効果はある程度あるでしょうっていう話をしている。
2:17:08	ものだと思っているのでこれ液相の話なんですよ。
2:17:13	今、
2:17:14	本申請ではなく、気相の話してますよね。
2:17:19	そこも含めて説明をしていただく必要があると。
2:17:22	ていますので、
2:17:23	どう扱うかは別ですけど、最終的にもしそこまで行くのであればそういう 説明も、没水の話と同じようにしていただく必要があると思っております ので、そこは承知おきください。
2:17:36	関西電力の福原です。方向性はまた社内で決めてご説明させていただ きますけども最後のところだけ一つだけ、ちょっと
2:17:45	情報とか知識だけなんですけど気相部、福士杉さん木曾じゃなくて気 相部の話ですよ転送はっていうことなんですけど、今我々
2:17:58	気相部もう液膜を 100%、
2:18:01	ということで、見えますのである意味液膜液体がアベとつと、燃料棒の 表面についているということで体系をとっているということだけは少し申 し添えさせていただきます。
2:18:17	規制庁鈴木ですそういう説明をして使いたければしていただいてもいけ るんですけど、
2:18:23	それで説明になるかどうかは我々ちょっとまだ今のところわからないの で、今実際出てきたときに、そういう説明があれば確認させていただきます。
2:18:32	以上ですけど。
2:18:34	塩素のところについて規制庁がまだ追加でないか。
2:18:39	よろしいですか。はい。
2:18:43	今日、
2:18:44	予定してた内容は一応一通りやりましたけれども、
2:18:50	衛藤。
2:18:52	今後のスケジュールの説明に入っているかそれともまだ他に何か説明 をしていきたいことがあるか、関西電力の方からお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:06	関西電力の福原です。はい。特にございません。
2:19:10	原子力規制庁スズキです。では今後のスケジュールですけどまず、今日、
2:19:16	資料修正をしていただくといった内容をいつごろまでに提出していただけるかで、
2:19:26	一方で、
2:19:29	先週金曜日の申請書の時に、審査会合の話したかちょっと記憶にないんですけど、
2:19:36	審査会合を、5月にはもうやらないといけないとっていてな、なぜかという、
2:19:44	関西電力が、
2:19:45	6月ぐらいには、
2:19:47	という何かスケジュールを立てられているので、
2:19:50	前回指摘の回答を5月ぐらいには閉めとして、
2:19:59	今んところ、申請書での記載で、
2:20:04	どうかなっていうところはまだ、
2:20:06	出てきてないとは思っているんですけど。
2:20:09	であれば、体裁だけ整えるね、補正だとかって話、資料要望に入れてるんじゃないかみたいな話ありましたけど、
2:20:17	添付資料。
2:20:20	別紙とか別添とか、
2:20:21	ちょっとこうす、省きますみたいなどころ。
2:20:24	ですけどその辺の補正の時期も含めると、
2:20:28	結構5月中にしっかり、
2:20:30	まとめておかないと。
2:20:32	厳しいかなと思っている。
2:20:34	現状は、
2:20:36	5月の中旬ぐらいにはしたいなっていうことで、確定はしないですけど、一応、庁内で調整の
2:20:43	エントリーは上げています。
2:20:47	それを考えると、
2:20:49	この資料を、
2:20:51	もう一度出していただいて、最低でももう1回ヒアリングをしなきゃいけないと思ってますし、
2:20:58	と考えるとあんまり時間がなくてですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:02	連休前には、
2:21:04	もう大体、
2:21:06	確認済みにしたい。
2:21:08	と思うんですけど、
2:21:10	そういうのを踏まえて資料の修正、
2:21:13	最低数っていうところが、いつごろ、
2:21:16	いけそうかなっていうのが今、何か説明できることがあれば、
2:21:33	関西電力の黒田です。今の話へと逆算すると、
2:21:39	月中にもう一度ヒアリングを実施いただけるためには、
2:21:43	何か、いつまでにはちょっと必要だよみたいなそ相場感が逆にあれば、
2:21:48	教えていただけますか。
2:21:51	規制庁スズキです一発でいくつもりであれば、
2:21:56	14 までに出れば、
2:22:00	一発では、
2:22:02	確実にいけると思いますが、
2:22:06	もうちょっと余裕みたいっていうことであれば、
2:22:11	頑張っって欲しいっていう、
2:22:14	そういう相場感ということです。ありがとうございます。
2:22:46	原子力規制庁スズキ
2:22:48	多分、5 月の中旬ってなると、
2:22:52	後レール明けには、もう一応資料はほぼ固まっています、後、庁内の説明含めて、
2:23:00	固めないといけないと思っているので、やっぱり結局、ゴールデンウィーク前に、
2:23:06	資料がきっちりできてなかったとしても、回答の方向性とか、何を説明されようかっていうところは、
2:23:14	固まってないと、もう間に合わないかなって思うので、そういった意味で、
2:23:20	そこまでに最低 1 回、もう次でバシッといけますっていうところであれば、
2:23:27	14 日までに出てくれば、
2:23:29	最低 1 回は必ずできるだろうなっていうふうに思ってます。
2:23:35	で、
2:23:37	もうちょっと、もう、もう必要がありそうかなって思われてるのであれば、
2:23:42	もう少し頑張っっていただければ 2 回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:46	て可能性ありますけど、
2:23:48	はい。関西電力の福原です演奏の扱いが少しちょっと今迷ってるんですけど、仮のやつを抜くとなったらその部分を抜いた部分で計算、
2:23:59	し直さないといけないのかなあって思ってましてそれを計算してっていうことになる、ちょっととても重要かっていうのは不確定性込みで、数字が出て狂うん出て来なさそうですというのがまずは一応、
2:24:13	規制庁スズキですもしそういう解析を見直すってことであれば、
2:24:18	見直す方向性も含めて、会合やんなきゃいけないので、
2:24:25	会合を一発で終わらせずに、もうさっさと。
2:24:30	やり方変えます。
2:24:33	一部変えますっていうのだけやって、
2:24:36	それで、並行して解析を走らしたりとかして解析結果が出てきましたっていう会合をあんまり時間か置かずに、
2:24:45	いや、やるっていうやり方もあるかと思えますけど、
2:24:50	解析結果を待ってから、
2:24:52	説明します。その解析結果を含めて、次の会合ですってやってると。
2:24:58	いつまでたっても何か進まない気がするので、
2:25:02	やれることはやっちゃったほうがいいし、変更、主な変更、大きな変更点があるんだったら、許可に説明した内容と違う説明を、
2:25:10	しようとするのであれば、全部まとまってから説明するよりかは、
2:25:15	こういうふうに変えようと思ってますっていう話だけでも、
2:25:18	先にやっちゃった方がいいと思うんですけど。
2:25:22	はい。関西電力の福原です。そういう解析、演奏抜きで計算し直すとなったらそういう流れになるのかなと思ってます。あとちょっと確認なんですけどその場合はやっぱりその解析。
2:25:33	まずその5月の中旬にやり方変えます会合を1回やって、その間に計算しておいて、出てきた結果は結果でまた会合になるんでしょうかね。
2:25:44	結局、
2:25:46	申請書の中身が、単なる体裁の修正ですみたいな補正だったら、
2:25:54	そんなに、
2:25:55	審議する内容ではないのでいいんですけど、結果変わりますって言ったらこれは、
2:26:01	結果の、
2:26:02	をちゃんと審議しないとけないので、それは審査会合の場でしっかり、
2:26:06	一番いいのは補正してから審査会合なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:12	ちょっと素行は、
2:26:14	どっちが先がっていうところもあると思うので、その辺はちょっとなるべく、
2:26:20	我々としては、
2:26:22	補正してからやりたいとは思いますが、
2:26:25	そこまでどうしても難しいっていうのであれば、先行して、こういう補正をしようと思ってますっていう、意向を示していただいて、
2:26:34	その通り補正されれば、
2:26:36	審査会合をはなしで、手続きに入るっていうやり方もあるので、ちょっとその辺は考えていただいて、
2:26:45	関西電力の福原です。そうしましたらまず再計算しないというパターンでいくとしたら、5月の中旬に、もう来週、どこかで資料をお出しさせていただいて、連休までに1ないし2回ヒアリングを経て、
2:27:03	5月の中旬に審査会をやります。そのへ審査会合の中で、記載の適正カーンみたいなことであったりとかそこら辺を、我々からご説明して、当然もう不確定性の話もですけども、
2:27:17	ご説明して、会合で内容的にOKですねっていうことになって、補正をするというそういう流れになっていきますと、一方で再計算やり直しますっていう話になった場合は、
2:27:31	その場合はどうすのかなまずやり直しますという内容の会合を5月の中旬に1回やって、
2:27:42	その結果が仕上がってきたら、もう1回その結果の報告、審査会合みたいなものをどっか月変わって、なるんでしょうけどもそこでやると、そんな感じでよろしいですかね。
2:27:56	規制庁宗ですそう。そう。それが関西電力の
2:28:01	ね大体スケジュールだと思うので、
2:28:04	そういうつもりで間頑張っていたら、
2:28:08	のかなと思いますけど。
2:28:12	関西電力富樫です。念のため確認なんですけども、係に解析が間に合って5月中旬の会合でご説明できますとなった場合には、そこでご説明させていただいてもよろしいでしょうか。
2:28:26	規制庁鈴木です所見で審査会合や、やって自信があるのであればそれもありますけど、あんまりそんなのはないっすよね。
2:28:36	あ、失礼いたしました。
2:28:46	スケジュールは大体把握できたと思うので、資料提出等の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:28:52	具体的な日日程が、
2:28:55	決まりましたら、東京支社経由で連絡をお願いします。
2:29:02	本日のヒアリングは以上にしたいと思います。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。